

設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	研究科以外の教育研究上の基本となる組織(学府)
設置者	コクリツダイガクホウジン キョウシュウダイガク 国立大学法人 九州大学
設置者の名称	キョウシュウダイガク ダイガクイン 九州大学 大学院 (Graduate School, Kyushu University)
新設学部等において養成する人材像	<p>①人類と他の生物にとっての生存圏である「地球社会」というシステムとそれに密接に関連するグローバルな人類の諸課題を文理の枠を超えた真に「統合的な学際性」に立脚して究明するとともに、これまでにない新たな解を提案して世界と地域をリードする、包括型の高度専門職業人並びに卓越した研究者の養成を行う。</p> <p>②博士前期課程では、軸足を置く専門科学の基礎を固めつつ、自らの問題意識を「地球社会的な視野」のなかに位置付け、狭い専門領域に自らを閉じ込めてしまわない「統合的な学際性」に基づいた研究を自主的に遂行できる人材を養成する。また、現実社会の問題の解決に、多様な人々と柔軟に連携しながら自ら取り組むことのできる実践力をあわせて習得させる。博士後期課程においては、博士前期課程で培った「地球社会的な視野に立つ統合的な学際性」及び専門的・学術的な基礎や実践力を高度に発展させながら、世界レベルで高い影響力をもつ独創的な研究成果を生み出し、力強く発信できるような専門家としての能力の育成を目指す。</p> <p>③修了後の主な進路としては、博士前期課程では、博士後期課程への進学のほか、国際機関、政府や自治体、企業、NGO/NPO、学校などの場で、「統合的な学際性」を活かした職業分野に従事することを想定している。博士後期課程では、九州圏内の大学を中心に、全国各地あるいはアジアを中心とした各国の大学及び研究機関（企業の研究部を含む。）で研究教育に従事することを想定している。</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>①日本社会文化専攻においては、現代社会が直面している様々な問題を解決するために、「世界、或いはアジアの中の日本」という観点から、社会、文化、環境及びその変容について学際的に問題解決に取り組む研究者及び高度専門職業人を組織的に養成する。</p> <p>②国際社会文化専攻においては、グローバル化と情報化、地球環境変動に伴い急速に変容しつつある国際社会が、現代的課題を乗り越えていくための方策を探求する研究者及び高度専門職業人を組織的に養成する。</p> <p>③修了後の主な進路としては、博士前期課程では、博士後期課程への進学のほか、博物館・資料館（学芸員）、国際機関や官庁・自治体、企業、初等中等学校、NGO/NPO等の諸分野で、「地域や社会文化の総合的理解」を発揮できる職業に、人材を輩出している。博士後期課程では、九州圏内の大学の他、全国各地の大学・研究機関、さらにはアジアを中心に世界各国の大学で研究教育に従事する人材を輩出している。</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>【地球社会統合科学専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭専修免許状（英語、国語、社会、理科） ・高等学校教諭専修免許状（歴史地理、公民、国語、理科、英語） <p>①国家資格 ②資格取得可能 ③既に1種免許状を持っている者で、卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>
既設学部等において取得可能な資格	<p>【日本社会文化専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭専修免許状（社会、国語） ・高等学校教諭専修免許状（歴史地理、公民、国語） <p>①国家資格 ②資格取得可能 ③既に1種免許状を持っている者で、卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【国際社会文化専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭専修免許状（英語、社会、理科） ・高等学校教諭専修免許状（英語、歴史地理、公民、理科） <p>①国家資格 ②資格取得可能 ③既に1種免許状を持っている者で、卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	地球社会統合科学府 [Graduate School of Integrated Sciences for Global Society]	地球社会統合科学専攻(博士前期課程) [Department of Integrated Sciences for Global Society]	2	60	-	120	修士(学術) 修士(理学)	文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 法学関係	平成26年4月	比較社会文化学府日本社会文化専攻	31	13
		比較社会文化学府国際社会文化専攻								28	16	
		人間環境学府教育システム専攻								1	0	
		言語文化研究院								1	0	
		留学生センター								1	0	
		新規採用								5	1	
		計								67	30	
		地球社会統合科学専攻(博士後期課程) [Department of Integrated Sciences for Global Society]	3	35	-	105	博士(学術) 博士(理学)	文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 法学関係	平成26年4月	比較社会文化学府日本社会文化専攻	30	13
		比較社会文化学府国際社会文化専攻								26	15	
		言語文化研究院								2	0	
		留学生センター								1	0	
		新規採用								5	1	
		計								64	29	
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	比較社会文化学府(廃止)	日本社会文化専攻(博士前期課程)	2	24	-	48	修士(比較社会文化) 修士(理学)	文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 経済学関係, 法学関係	平成6年4月	地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	31	13
		人文科学府歴史空間論専攻								2	1	
		経済学府経済システム専攻								2	0	
		退職								2	1	
		計								37	15	
		日本社会文化専攻(博士後期課程)	3	20	-	60	博士(比較社会文化) 博士(理学)	文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 経済学関係, 法学関係	平成6年4月	地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	30	13
		人文科学府歴史空間論専攻									2	1
		経済学府経済システム専攻								2	0	
		その他								1	1	
		退職								2	1	
		計								37	16	
		国際社会文化専攻(博士前期課程)	2	26	-	52	修士(比較社会文化) 修士(理学)	文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 経済学関係, 法学関係	平成6年4月	地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	28	16
		その他									5	4
		退職								3	1	
		計								36	21	
		国際社会文化専攻(博士後期課程)	3	20	-	60	博士(比較社会文化) 博士(理学)	文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 経済学関係, 法学関係	平成6年4月	地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	26	15
		その他									5	4
		退職								5	2	
		計								36	21	
要	人間環境学府	教育システム専攻(博士前期課程)	2	19	-	38	修士(人間環境学) 修士(教育学) 修士(心理学)	教育学・保育学関係	平成10年4月	地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	1	0
		計									1	0

【備考欄】

教育課程等の概要 (事前伺い)

(地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	チュートリアル I	1前	1					○		29	28	5			オムニバス ※演習、オムニバス ※演習
	地球社会統合科学	1前・後	2				○		8	7					
	地球社会フィールド調査法	1前・後	1				○		7	4	1				
	外国語(英語・日本語)ライティング	1前・後	2				○		2	2	1				
	国際コース														
国際コース	Tutorial I	1前	1					○	7	11	5			オムニバス	
	Tutorial II	1前	1					○	7	11	5				
	Integrated Sciences for Global Society	1前・後	2				○		2	4					
	小計 (7科目)	—	10					—	29	28	5				
基礎科目	包括的地球科学 A	1・2前		2			○		1	1				兼1	オムニバス
	包括的地球科学 B	1・2前		2			○		1					兼1	オムニバス
	包括的地球科学 C	1・2後		2			○			1				兼1	オムニバス
	包括的地球科学 D	1・2後		2			○		1	1					オムニバス
	包括的生物環境科学概論 A	1・2前		2			○		2		2				オムニバス
	包括的生物環境科学概論 B	1・2前		2			○			3					オムニバス
	包括的生物環境科学概論 C	1・2後		2			○		2	3	2				※演習、オムニバス
	包括的生物環境科学概論 D	1・2後		2			○		1	2					※演習、集中、オムニバス
	国際協調・安全構築論 A	1・2前		2			○		3	1					オムニバス
	国際協調・安全構築論 B	1・2前		2			○		1	1	1				オムニバス
	国際協調・安全構築論 C	1・2後		2			○		1						
	国際協調・安全構築論 D	1・2後		2			○			2				兼1	隔年開講
	社会的多様性共存論 A	1・2前		2			○		1	2				兼1	オムニバス
	社会的多様性共存論 B	1・2前		2			○		1	2					オムニバス
	社会的多様性共存論 C	1・2後		2			○		2	1					オムニバス
	言語・メディア・コミュニケーション論 A	1・2前		2			○		2						オムニバス
	言語・メディア・コミュニケーション論 B	1・2前		2			○		1						オムニバス
	言語・メディア・コミュニケーション論 C	1・2後		2			○			2					オムニバス
	言語・メディア・コミュニケーション論 D	1・2後		2			○		1	1					オムニバス
	包括的東アジア・日本研究 A	1・2前		2			○		5	3				兼2	オムニバス
	包括的東アジア・日本研究 B	1・2前		2			○		3	2					オムニバス
	包括的東アジア・日本研究 C	1・2後		2			○			3	1				オムニバス
	国際コース	Comprehensive Earth Sciences A	1・2前		2			○		2	1				兼1
Comprehensive Earth Sciences B		1・2前		2			○		1	1				兼1	オムニバス
Comprehensive Earth Sciences C		1・2後		2			○		1	1				兼1	オムニバス
Comprehensive Earth Sciences D		1・2後		2			○		1						
Comprehensive Science of Biological Environment C		1・2後		2			○		1		2				※演習、オムニバス
Comprehensive Science of Biological Environment D		1・2後		2			○		1	2					※演習、集中、オムニバス
International Cooperation, Security and Safety B		1・2後		2			○			1	1				オムニバス
Social Diversity and Coexistence B		1・2前		2			○			1					
Language, Media and Communication A		1・2前		2			○		1						
Comprehensive East Asian and Japanese Studies A		1・2前		2			○		1	1					オムニバス
Comprehensive East Asian and Japanese Studies C		1・2後		2			○			3	1				オムニバス
	小計 (33科目)	—		66				—	30	30	5			兼7	
専門科目	フィールド調査実習	1後・2前・後	1					○	30	30	5	2		兼3	
	個別研究指導 I	1後	2					○	30	30	5			兼3	
	個別研究指導 II	2前	2					○	30	30	5			兼3	
	個別研究指導 III	2後	2					○	30	30	5			兼3	
	国際コース														
	Field Research and Practicum	1後・2前・後	1					○	8	13	5			兼3	
	Thesis Advising I	1後	2					○	8	13	5			兼3	
	Thesis Advising II	2前	2					○	8	13	5			兼3	
	Thesis Advising III	2後	2					○	8	13	5			兼3	
	総合演習														
総合演習(包括的地球科学コース) I	1前		2				○	3	3		1		兼3		
総合演習(包括的地球科学コース) II	1後		2				○	3	3		1		兼3		
総合演習(包括的地球科学コース) III	2前		2				○	3	3		1		兼3		
総合演習(包括的地球科学コース) IV	2後		2				○	3	3		1		兼3		
総合演習(包括的生物環境科学コース) I	1前		2				○	3	5	2			兼3		

総合演習(包括的生物環境科学コース) II	1後	2	○	3	5	2		
総合演習(包括的生物環境科学コース) III	2前	2	○	3	5	2		
総合演習(包括的生物環境科学コース) IV	2後	2	○	3	5	2		
総合演習(国際協調・安全構築コース) A I	1前	2	○	4	2	1		
総合演習(国際協調・安全構築コース) A II	1後	2	○	4	2	1		
総合演習(国際協調・安全構築コース) A III	2前	2	○	4	2	1		
総合演習(国際協調・安全構築コース) A IV	2後	2	○	4	2	1		
総合演習(国際協調・安全構築コース) B I	1前	2	○	1	2			
総合演習(国際協調・安全構築コース) B II	1後	2	○	1	2			
総合演習(国際協調・安全構築コース) B III	2前	2	○	1	2			
総合演習(国際協調・安全構築コース) B IV	2後	2	○	1	2			
総合演習(社会的多様性共存コース) I	1前	2	○	4	4			
総合演習(社会的多様性共存コース) II	1後	2	○	4	4			
総合演習(社会的多様性共存コース) III	2前	2	○	4	4			
総合演習(社会的多様性共存コース) IV	2後	2	○	4	4			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) A I	1前	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) A II	1後	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) A III	2前	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) A IV	2後	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) B I	1前	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) B II	1後	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) B III	2前	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) B IV	2後	2	○	4	5			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) C I	1前	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) C II	1後	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) C III	2前	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) C IV	2後	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) D I	1前	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) D II	1後	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) D III	2前	2	○	4	3			
総合演習(言語・メディア・コミュニケーションコース) D IV	2後	2	○	4	3			
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) A I	1前	2	○	4	2	1		兼2
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) A II	1後	2	○	4	2	1		兼2
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) A III	2前	2	○	4	2	1		兼2
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) A IV	2後	2	○	4	2	1		兼2
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) B I	1前	2	○	3	1	1		
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) B II	1後	2	○	3	1	1		
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) B III	2前	2	○	3	1	1		
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) B IV	2後	2	○	3	1	1		
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) C I	1前	2	○	3	1			
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) C II	1後	2	○	3	1			
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) C III	2前	2	○	3	1			
総合演習(包括的東アジア・日本研究コース) C IV	2後	2	○	3	1			

総合演習(国際コース)	Integrated Seminar(Comprehensive Earth Sciences) I	1前	2			○		3	2	1	兼3
	Integrated Seminar(Comprehensive Earth Sciences) II	1後	2			○		3	2	1	兼3
	Integrated Seminar(Comprehensive Earth Sciences) III	2前	2			○		3	2	1	兼3
	Integrated Seminar(Comprehensive Earth Sciences) IV	2後	2			○		3	2	1	兼3
	Integrated Seminar(Comprehensive Science of Biological Environment) I	1前	2			○		2	2	2	
	Integrated Seminar(Comprehensive Science of Biological Environment) II	1後	2			○		2	2	2	
	Integrated Seminar(Comprehensive Science of Biological Environment) III	2前	2			○		2	2	2	
	Integrated Seminar(Comprehensive Science of Biological Environment) IV	2後	2			○		2	2	2	
	Integrated Seminar(International Cooperation, Security and Safety) A I	1前	2			○			1	1	
	Integrated Seminar(International Cooperation, Security and Safety) A II	1後	2			○			1	1	
	Integrated Seminar(International Cooperation, Security and Safety) A III	2前	2			○			1	1	
	Integrated Seminar(International Cooperation, Security and Safety) A IV	2後	2			○			1	1	
	Integrated Seminar(Social Diversity and Coexistence) I	1前	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Social Diversity and Coexistence) II	1後	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Social Diversity and Coexistence) III	2前	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Social Diversity and Coexistence) IV	2後	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Language, Media and Communication) A I	1前	2			○		1	3		
	Integrated Seminar(Language, Media and Communication) A II	1後	2			○		1	3		
	Integrated Seminar(Language, Media and Communication) A III	2前	2			○		1	3		
	Integrated Seminar(Language, Media and Communication) A IV	2後	2			○		1	3		
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) A I	1前	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) A II	1後	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) A III	2前	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) A IV	2後	2			○		1	1		
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) B I	1前	2			○				1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) B II	1後	2			○				1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) B III	2前	2			○				1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) B IV	2後	2			○				1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) C I	1前	2			○			3	1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) C II	1後	2			○			3	1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) C III	2前	2			○			3	1	
	Integrated Seminar(Comprehensive East Asian and Japanese Studies) C IV	2後	2			○			3	1	
	演習	●包括的地球科学コース									
地球物質変動論 I		1前	2			○		1			
地球物質変動論 II		1後	2			○		1			
地球物質変動論 III		2前	2				○	1			※演習
地球物質変動論 IV		2後	2				○	1			※演習
極域地圏変動論 I		1前	2			○					兼1 集中
極域地圏変動論 II		1後	2			○					兼1 集中
極域地圏変動論 III	2前	2				○				兼1 ※演習、集中	
極域地圏変動論 IV	2後	2				○				兼1 ※演習、集中	

極域海洋底ダイナミクス論 I	1前	2	○						兼1	集中
極域海洋底ダイナミクス論 II	1後	2	○						兼1	集中
極域海洋底ダイナミクス論 III	2前	2		○					兼1	※演習、集中
極域海洋底ダイナミクス論 IV	2後	2		○					兼1	※演習、集中
極域地球物質科学 I	1前	2	○						兼1	集中
極域地球物質科学 II	1後	2	○						兼1	集中
極域地球物質科学 III	2前	2		○					兼1	※演習、集中
極域地球物質科学 IV	2後	2		○					兼1	※演習、集中
地球構成物質論 I	1前	2	○				1			
地球構成物質論 II	1後	2	○				1			
地球構成物質論 III	2前	2		○			1			※演習
地球構成物質論 IV	2後	2		○			1			※演習
地球環境変動論 I	1前	2	○				1			
地球環境変動論 II	1後	2	○				1			
地球環境変動論 III	2前	2		○			1			※演習
地球環境変動論 IV	2後	2		○			1			※演習
地球環境鉱物学 I	1前	2	○				1			
地球環境鉱物学 II	1後	2	○				1			
地球環境鉱物学 III	2前	2		○			1			※演習
地球環境鉱物学 IV	2後	2		○			1			※演習
地球環境保全学 I	1前	2	○			1				
地球環境保全学 II	1後	2	○			1				
地球環境保全学 III	2前	2		○		1				※演習
地球環境保全学 IV	2後	2		○		1				※演習
地球進化論 I	1前	2	○				1			
地球進化論 II	1後	2	○				1			
地球進化論 III	2前	2		○			1			※演習
地球進化論 IV	2後	2		○			1			※演習
●包括的生物環境科学コース										
生物多様性科学A(植物の多様性) I	1前	2	○				1			
生物多様性科学A(植物の多様性) II	1後	2	○				1			
生物多様性科学A(植物の多様性) III	2前	2		○			1			※演習
生物多様性科学A(植物の多様性) IV	2後	2		○			1			※演習
生物多様性科学B(動物の多様性) I I	1前	2	○				1			
生物多様性科学B(動物の多様性) I II	1後	2	○				1			
生物多様性科学B(動物の多様性) I III	2前	2		○			1			※演習
生物多様性科学B(動物の多様性) I IV	2後	2		○			1			※演習
生物多様性科学C(動物の多様性) II I	1前	2	○			1				
生物多様性科学C(動物の多様性) II II	1後	2	○			1				
生物多様性科学C(動物の多様性) II III	2前	2		○		1				※演習
生物多様性科学C(動物の多様性) II IV	2後	2		○		1				※演習
生物多様性科学D(生態リスク管理) I	1前	2	○				1			
生物多様性科学D(生態リスク管理) II	1後	2	○				1			
生物多様性科学D(生態リスク管理) III	2前	2		○			1			※演習
生物多様性科学D(生態リスク管理) IV	2後	2		○			1			※演習
生物インベントリー科学 A(動物系統分類学概論) I	1前	2	○				1			集中
生物インベントリー科学 A(動物系統分類学概論) II	1後	2	○				1			集中
生物インベントリー科学 A(動物系統分類学概論) III	2前	2		○		1				※演習、集中
生物インベントリー科学 A(動物系統分類学概論) IV	2後	2		○		1				※演習、集中
生物インベントリー科学 B(土壌動物学概論) I	1前	2	○				1			集中
生物インベントリー科学 B(土壌動物学概論) II	1後	2	○				1			集中
生物インベントリー科学 B(土壌動物学概論) III	2前	2		○		1				※演習、集中
生物インベントリー科学 B(土壌動物学概論) IV	2後	2		○		1				※演習、集中
生物インベントリー科学 C(系統地理学概論) I	1前	2	○				1			集中
生物インベントリー科学 C(系統地理学概論) II	1後	2	○				1			集中
生物インベントリー科学 C(系統地理学概論) III	2前	2		○		1				※演習、集中
生物インベントリー科学 C(系統地理学概論) IV	2後	2		○		1				※演習、集中
地域社会環境学 A(人間・環境相互作用論) I	1前	2	○				1			
地域社会環境学 A(人間・環境相互作用論) II	1後	2	○				1			

地域社会環境学 A(人間・環境相互作用論) III	2前	2	○	1							
地域社会環境学 A(人間・環境相互作用論) IV	2後	2	○	1							
地域社会環境学 B(森林資源管理学) I	1前	2	○	1							
地域社会環境学 B(森林資源管理学) II	1後	2	○	1							
地域社会環境学 B(森林資源管理学) III	2前	2	○	1							
地域社会環境学 B(森林資源管理学) IV	2後	2	○	1							
地域社会環境学 C(地域環境政策論) I	1前	2	○	1							
地域社会環境学 C(地域環境政策論) II	1後	2	○	1							
地域社会環境学 C(地域環境政策論) III	2前	2	○	1							
地域社会環境学 C(地域環境政策論) IV	2後	2	○	1							
●国際協調・安全構築コース											
現代正義論・人権論 I	1前	2	○	1							
現代正義論・人権論 II	1後	2	○	1							
現代正義論・人権論 III	2前	2	○	1							
現代正義論・人権論 IV	2後	2	○	1							
市民自治論 I	1前	2	○	1							
市民自治論 II	1後	2	○	1							
市民自治論 III	2前	2	○	1							
市民自治論 IV	2後	2	○	1							
非暴力思想研究 I	1前	2	○	1							
非暴力思想研究 II	1後	2	○	1							
非暴力思想研究 III	2前	2	○	1							
非暴力思想研究 IV	2後	2	○	1							
国際政治コミュニケーション論 I	1前	2	○	1							
国際政治コミュニケーション論 II	1後	2	○	1							
国際政治コミュニケーション論 III	2前	2	○	1							
国際政治コミュニケーション論 IV	2後	2	○	1							
グローバル・ガバナンス論 I	1前	2	○	1							
グローバル・ガバナンス論 II	1後	2	○	1							
グローバル・ガバナンス論 III	2前	2	○	1							
グローバル・ガバナンス論 IV	2後	2	○	1							
国際協力論 I	1前	2	○	1							
国際協力論 II	1後	2	○	1							
国際協力論 III	2前	2	○	1							
国際協力論 IV	2後	2	○	1							
紛争と平和構築論 I	1前	2	○					1			
紛争と平和構築論 II	1後	2	○					1			
紛争と平和構築論 III	2前	2	○					1			
紛争と平和構築論 IV	2後	2	○					1			
エネルギー政策論 I	1前	2	○	1							
エネルギー政策論 II	1後	2	○	1							
エネルギー政策論 III	2前	2	○	1							
エネルギー政策論 IV	2後	2	○	1							
エネルギー安全保障論 I	1前	2	○								兼1
エネルギー安全保障論 II	1後	2	○								兼1
エネルギー安全保障論 III	2前	2	○								兼1
エネルギー安全保障論 IV	2後	2	○								兼1
国際福祉・社会開発論 I	1前	2	○	1							
国際福祉・社会開発論 II	1後	2	○	1							
国際福祉・社会開発論 III	2前	2	○	1							
国際福祉・社会開発論 IV	2後	2	○	1							
途上国産業発展論 I	1前	2	○								兼1
途上国産業発展論 II	1後	2	○								兼1
途上国産業発展論 III	2前	2	○								兼1
途上国産業発展論 IV	2後	2	○								兼1
産業経済地理学 I	1前	2	○	1							
産業経済地理学 II	1後	2	○	1							
産業経済地理学 III	2前	2	○	1							
産業経済地理学 IV	2後	2	○	1							
●社会的多様性共存コース											
産業変動論 I	1前	2	○								兼1
産業変動論 II	1後	2	○								兼1
産業変動論 III	2前	2	○								兼1
産業変動論 IV	2後	2	○								兼1
経済多様性論 I	1前	2	○	1							
経済多様性論 II	1後	2	○	1							
経済多様性論 III	2前	2	○	1							
経済多様性論 IV	2後	2	○	1							

共生社会論 I	1前	2	○	1					
共生社会論 II	1後	2	○	1					
共生社会論 III	2前	2	○	1					
共生社会論 IV	2後	2	○	1					
現代メディア論 I	1前	2	○		1				
現代メディア論 II	1後	2	○		1				
現代メディア論 III	2前	2	○		1				
現代メディア論 IV	2後	2	○		1				
カルチュラル・スタディーズ I	1前	2	○		1				
カルチュラル・スタディーズ II	1後	2	○		1				
カルチュラル・スタディーズ III	2前	2	○		1				
カルチュラル・スタディーズ IV	2後	2	○		1				
ジェンダー研究と文化論 I	1前	2	○		1				
ジェンダー研究と文化論 II	1後	2	○		1				
ジェンダー研究と文化論 III	2前	2	○		1				
ジェンダー研究と文化論 IV	2後	2	○		1				
文化理論研究 I	1前	2	○	1					
文化理論研究 II	1後	2	○	1					
文化理論研究 III	2前	2	○	1					
文化理論研究 IV	2後	2	○	1					
文化動態論 I	1前	2	○	1					
文化動態論 II	1後	2	○	1					
文化動態論 III	2前	2	○	1					
文化動態論 IV	2後	2	○	1					
比較オカルト論 I	1前	2	○					兼1	
比較オカルト論 II	1後	2	○					兼1	
比較オカルト論 III	2前	2	○					兼1	
比較オカルト論 IV	2後	2	○					兼1	
共生思想論 I	1前	2	○	1					
共生思想論 II	1後	2	○	1					
共生思想論 III	2前	2	○	1					
共生思想論 IV	2後	2	○	1					
●言語・メディア・コミュニケーション コース									
言語コミュニケーション学 A(ディベート 学) I	1前	2	○	1					
言語コミュニケーション学 A(ディベート 学) II	1後	2	○	1					
言語コミュニケーション学 A(ディベート 学) III	2前	2	○	1					
言語コミュニケーション学 A(ディベート 学) IV	2後	2	○	1					
言語コミュニケーション学 B(言語語用論) I	1前	2	○	1					
言語コミュニケーション学 B(言語語用論) II	1後	2	○	1					
言語コミュニケーション学 B(言語語用論) III	2前	2	○	1					
言語コミュニケーション学 B(言語語用論) IV	2後	2	○	1					
言語コミュニケーション学 C(言語体系論) I	1前	2	○	1					
言語コミュニケーション学 C(言語体系論) II	1後	2	○	1					
言語コミュニケーション学 C(言語体系論) III	2前	2	○	1					
言語コミュニケーション学 C(言語体系論) IV	2後	2	○	1					
言語コミュニケーション学 D(東アジア言語 論) I	1前	2	○		1				
言語コミュニケーション学 D(東アジア言語 論) II	1後	2	○		1				
言語コミュニケーション学 D(東アジア言語 論) III	2前	2	○		1				
言語コミュニケーション学 D(東アジア言語 論) IV	2後	2	○		1				
多文化共生教育論 A(言語習得論) I	1前	2	○		1				
多文化共生教育論 A(言語習得論) II	1後	2	○		1				
多文化共生教育論 A(言語習得論) III	2前	2	○		1				
多文化共生教育論 A(言語習得論) IV	2後	2	○		1				
多文化共生教育論 B(言語教育方法論) I	1前	2	○		1				

多文化共生教育論 B(言語教育方法論) II	1後	2	○	1
多文化共生教育論 B(言語教育方法論) III	2前	2	○	1
多文化共生教育論 B(言語教育方法論) IV	2後	2	○	1
多文化共生教育論 C(言語教育実践理論) I	1前	2	○	1
多文化共生教育論 C(言語教育実践理論) II	1後	2	○	1
多文化共生教育論 C(言語教育実践理論) III	2前	2	○	1
多文化共生教育論 C(言語教育実践理論) IV	2後	2	○	1
多文化共生教育論 D(言語メディア教育論) I	1前	2	○	1
多文化共生教育論 D(言語メディア教育論) II	1後	2	○	1
多文化共生教育論 D(言語メディア教育論) III	2前	2	○	1
多文化共生教育論 D(言語メディア教育論) IV	2後	2	○	1
多文化共生教育論 E(言語政策論) I	1前	2	○	1
多文化共生教育論 E(言語政策論) II	1後	2	○	1
多文化共生教育論 E(言語政策論) III	2前	2	○	1
多文化共生教育論 E(言語政策論) IV	2後	2	○	1
文芸・文化交渉論A(フランス文芸思潮とメディア) I	1前	2	○	1
文芸・文化交渉論A(フランス文芸思潮とメディア) II	1後	2	○	1
文芸・文化交渉論A(フランス文芸思潮とメディア) III	2前	2	○	1
文芸・文化交渉論A(フランス文芸思潮とメディア) IV	2後	2	○	1
文芸・文化交渉論B(ヨーロッパ文学・文化翻訳) I	1前	2	○	1
文芸・文化交渉論B(ヨーロッパ文学・文化翻訳) II	1後	2	○	1
文芸・文化交渉論B(ヨーロッパ文学・文化翻訳) III	2前	2	○	1
文芸・文化交渉論B(ヨーロッパ文学・文化翻訳) IV	2後	2	○	1
文芸・文化交渉論C(中国文芸様態論) I	1前	2	○	1
文芸・文化交渉論C(中国文芸様態論) II	1後	2	○	1
文芸・文化交渉論C(中国文芸様態論) III	2前	2	○	1
文芸・文化交渉論C(中国文芸様態論) IV	2後	2	○	1
文芸・文化交渉論D(東アジア近代文芸論) I	1前	2	○	1
文芸・文化交渉論D(東アジア近代文芸論) II	1後	2	○	1
文芸・文化交渉論D(東アジア近代文芸論) III	2前	2	○	1
文芸・文化交渉論D(東アジア近代文芸論) IV	2後	2	○	1
文芸・リテラシー論 A(比較文芸メディア論) I	1前	2	○	1
文芸・リテラシー論 A(比較文芸メディア論) II	1後	2	○	1

文芸・リテラシー論 A(比較文芸メディア論) III	2前	2	○		1				
文芸・リテラシー論 A(比較文芸メディア論) IV	2後	2	○		1				
文芸・リテラシー論 B(近代日本の文芸メディア) I	1前	2	○		1				
文芸・リテラシー論 B(近代日本の文芸メディア) II	1後	2	○		1				
文芸・リテラシー論 B(近代日本の文芸メディア) III	2前	2	○		1				
文芸・リテラシー論 B(近代日本の文芸メディア) IV	2後	2	○		1				
文芸・リテラシー論 C(現代日本の文芸メディア) I	1前	2	○			1			
文芸・リテラシー論 C(現代日本の文芸メディア) II	1後	2	○			1			
文芸・リテラシー論 C(現代日本の文芸メディア) III	2前	2	○			1			
文芸・リテラシー論 C(現代日本の文芸メディア) IV	2後	2	○			1			
●包括的東アジア・日本研究コース									
人類紀環境論 I	1前	2	○		1				
人類紀環境論 II	1後	2	○		1				
人類紀環境論 III	2前	2	○		1				
人類紀環境論 IV	2後	2	○		1				
埋蔵文化財調査研究方法論 I	1前	2	○			1			
埋蔵文化財調査研究方法論 II	1後	2	○			1			
埋蔵文化財調査研究方法論 III	2前	2	○			1			
埋蔵文化財調査研究方法論 IV	2後	2	○			1			
自然人類学 I	1前	2	○			1			
自然人類学 II	1後	2	○			1			
自然人類学 III	2前	2	○			1			
自然人類学 IV	2後	2	○			1			
先史人類学 I	1前	2	○		1				
先史人類学 II	1後	2	○		1				
先史人類学 III	2前	2	○		1				
先史人類学 IV	2後	2	○		1				
社会考古学 I	1前	2	○		1				
社会考古学 II	1後	2	○		1				
社会考古学 III	2前	2	○		1				
社会考古学 IV	2後	2	○		1				
国家形成論 I	1前	2	○		1				
国家形成論 II	1後	2	○		1				
国家形成論 III	2前	2	○		1				
国家形成論 IV	2後	2	○		1				
東アジア考古学 I	1前	2	○						兼1
東アジア考古学 II	1後	2	○						兼1
東アジア考古学 III	2前	2	○						兼1
東アジア考古学 IV	2後	2	○						兼1
比較人類史研究 I	1前	2	○						兼1
比較人類史研究 II	1後	2	○						兼1
比較人類史研究 III	2前	2	○						兼1
比較人類史研究 IV	2後	2	○						兼1
東アジア広域交流史 I	1前	2	○			1			
東アジア広域交流史 II	1後	2	○			1			
東アジア広域交流史 III	2前	2	○			1			
東アジア広域交流史 IV	2後	2	○			1			
日本・東アジア歴史資料論 I	1前	2	○		1				
日本・東アジア歴史資料論 II	1後	2	○		1				
日本・東アジア歴史資料論 III	2前	2	○		1				
日本・東アジア歴史資料論 IV	2後	2	○		1				
東アジア近代国家形成論 I	1前	2	○		1				
東アジア近代国家形成論 II	1後	2	○		1				
東アジア近代国家形成論 III	2前	2	○		1				
東アジア近代国家形成論 IV	2後	2	○		1				
近現代日本と東アジア関係史研究 I	1前	2	○					1	
近現代日本と東アジア関係史研究 II	1後	2	○					1	
近現代日本と東アジア関係史研究 III	2前	2	○					1	
近現代日本と東アジア関係史研究 IV	2後	2	○					1	

	日韓海峡圏研究 I	1前	2		○		1						
	日韓海峡圏研究 II	1後	2		○		1						
	日韓海峡圏研究 III	2前	2		○		1						
	日韓海峡圏研究 IV	2後	2		○		1						
	中華文化圏研究 I	1前	2		○				1				
	中華文化圏研究 II	1後	2		○				1				
	中華文化圏研究 III	2前	2		○				1				
	中華文化圏研究 IV	2後	2		○				1				
	華人ネットワーク論 I	1前	2		○			1					
	華人ネットワーク論 II	1後	2		○			1					
	華人ネットワーク論 III	2前	2		○			1					
	華人ネットワーク論 IV	2後	2		○			1					
	アジア広域秩序構築論 I	1前	2		○			1					
	アジア広域秩序構築論 II	1後	2		○			1					
	アジア広域秩序構築論 III	2前	2		○			1					
	アジア広域秩序構築論 IV	2後	2		○			1					
	国際労働力移動論 I	1前	2		○			1					
	国際労働力移動論 II	1後	2		○			1					
	国際労働力移動論 III	2前	2		○			1					
	国際労働力移動論 IV	2後	2		○			1					
演習(国際コース)	Evolution of crustal materials I	1前	2		○		1						
	Evolution of crustal materials II	1後	2		○		1						
	Evolution of crustal materials III	2前	2			○	1					※演習	
	Evolution of crustal materials IV	2後	2			○	1					※演習	
	Geologic Evolution in Polar Region I	1前	2		○						兼1	集中	
	Geologic Evolution in Polar Region II	1後	2		○						兼1	集中	
	Geologic Evolution in Polar Region III	2前	2			○					兼1	※演習、集中	
	Geologic Evolution in Polar Region IV	2後	2			○					兼1	※演習、集中	
	Seafloor Dynamics in Polar Region I	1前	2		○						兼1	集中	
	Seafloor Dynamics in Polar Region II	1後	2		○						兼1	集中	
	Seafloor Dynamics in Polar Region III	2前	2			○					兼1	※演習、集中	
	Seafloor Dynamics in Polar Region IV	2後	2			○					兼1	※演習、集中	
	Earth Material Sciences in Polar Region I	1前	2		○						兼1	集中	
	Earth Material Sciences in Polar Region II	1後	2		○						兼1	集中	
	Earth Material Sciences in Polar Region III	2前	2			○					兼1	※演習、集中	
	Earth Material Sciences in Polar Region IV	2後	2			○					兼1	※演習、集中	
	Earth and Planetary Material Sciences I	1前	2		○			1					
	Earth and Planetary Material Sciences II	1後	2		○			1					
	Earth and Planetary Material Sciences III	2前	2			○		1					※演習
	Earth and Planetary Material Sciences IV	2後	2			○		1					※演習
	Evolution of Global Environment I	1前	2		○			1					
	Evolution of Global Environment II	1後	2		○			1					
	Evolution of Global Environment III	2前	2			○		1					※演習
	Evolution of Global Environment IV	2後	2			○		1					※演習
	Global Environment Conservation I	1前	2		○			1					
	Global Environment Conservation II	1後	2		○			1					
	Global Environment Conservation III	2前	2			○		1					※演習
	Global Environment Conservation IV	2後	2			○		1					※演習
	Evolution of the Earth I	1前	2		○			1					
	Evolution of the Earth II	1後	2		○			1					
	Evolution of the Earth III	2前	2			○		1					※演習
	Evolution of the Earth IV	2後	2			○		1					※演習
	Biodiversity Science A (Plant Diversity) I	1前	2		○					1			
	Biodiversity Science A (Plant Diversity) II	1後	2		○					1			
Biodiversity Science A (Plant Diversity) III	2前	2			○				1			※演習	
Biodiversity Science A (Plant Diversity) IV	2後	2			○				1			※演習	
Biodiversity Science B (Animal Diversity) I	1前	2		○					1				
Biodiversity Science B (Animal Diversity) II	1後	2		○					1				

Biodiversity Science B (Animal Diversity) III	2前	2		○		1	※演習
Biodiversity Science B (Animal Diversity) IV	2後	2		○		1	※演習
Biodiversity Science D (Ecological Risk Management)I	1前	2		○	1		
Biodiversity Science D (Ecological Risk Management)II	1後	2		○	1		
Biodiversity Science D (Ecological Risk Management)III	2前	2		○	1		※演習
Biodiversity Science D (Ecological Risk Management)IV	2後	2		○	1		※演習
Biological Inventory Science A (An introduction to Systematic Zoology)I	1前	2		○	1		集中
Biological Inventory Science A (An introduction to Systematic Zoology)II	1後	2		○	1		集中
Biological Inventory Science A (An introduction to Systematic Zoology)III	2前	2		○	1		※演習、集中
Biological Inventory Science A (An introduction to Systematic Zoology)IV	2後	2		○	1		※演習、集中
Biological Inventory Science B (Inventory Study on the Soil Animals and the Beetles) I	1前	2		○		1	集中
Biological Inventory Science B (Inventory Study on the Soil Animals and the Beetles) II	1後	2		○		1	集中
Biological Inventory Science B (Inventory Study on the Soil Animals and the Beetles)III	2前	2		○		1	※演習、集中
Biological Inventory Science B (Inventory Study on the Soil Animals and the Beetles) IV	2後	2		○		1	※演習、集中
Biological Inventory Science C (An introduction to Phylogeography) I	1前	2		○		1	集中
Biological Inventory Science C (An introduction to Phylogeography) II	1後	2		○		1	集中
Biological Inventory Science C (An introduction to Phylogeography) III	2前	2		○		1	※演習、集中
Biological Inventory Science C (An introduction to Phylogeography) IV	2後	2		○		1	※演習、集中
International Cooperation I	1前	2		○		1	
International Cooperation II	1後	2		○		1	
International Cooperation III	2前	2		○		1	
International Cooperation IV	2後	2		○		1	
Conflict and Peace Building I	1前	2		○			1
Conflict and Peace Building II	1後	2		○			1
Conflict and Peace Building III	2前	2		○			1
Conflict and Peace Building IV	2後	2		○			1
Diversity and Group Process I	1前	2		○		1	
Diversity and Group Process II	1後	2		○		1	
Diversity and Group Process III	2前	2		○		1	
Diversity and Group Process IV	2後	2		○		1	
Gender and Cultural History I	1前	2		○			1
Gender and Cultural History II	1後	2		○			1
Gender and Cultural History III	2前	2		○			1
Gender and Cultural History IV	2後	2		○			1
Speech Communication A (Argumentation and Debate) I	1前	2		○		1	
Speech Communication A (Argumentation and Debate) II	1後	2		○		1	
Speech Communication A (Argumentation and Debate) III	2前	2		○		1	
Speech Communication A (Argumentation and Debate)IV	2後	2		○		1	
Multicultural Education A (Language Acquisition) I	1前	2		○			1
Multicultural Education A (Language Acquisition) II	1後	2		○			1
Multicultural Education A (Language Acquisition) III	2前	2		○			1
Multicultural Education A (Language Acquisition)IV	2後	2		○			1
Multicultural Education B (Approaches and Methods in Second Language Teaching) I	1前	2		○			1

	Multicultural Education B (Approaches and Methods in Second Language Teaching) II	1後	2	○			1					
	Multicultural Education B(Approaches and Methods in Second Language Teaching) III	2前	2	○			1					
	Multicultural Education B (Approaches and Methods in Second Language Teaching) IV	2後	2	○			1					
	Multicultural Education D (Media and Language Education) I	1前	2	○			1					
	Multicultural Education D (Media and Language Education) II	1後	2	○			1					
	Multicultural Education D(Media and Language Education) III	2前	2	○			1					
	Multicultural Education D (Media and Language Education) IV	2後	2	○			1					
	Biological Anthropology I	1前	2	○			1					
	Biological Anthropology II	1後	2	○			1					
	Biological Anthropology III	2前	2	○			1					
	Biological Anthropology IV	2後	2	○			1					
	Fundamentals in Social Archaeology I	1前	2	○		1						
	Fundamentals in Social Archaeology II	1後	2	○		1						
	Fundamentals in Social Archaeology III	2前	2	○		1						
	Fundamentals in Social Archaeology IV	2後	2	○		1						
	Study on Chinese Cultural Sphere I	1前	2	○					1			
	Study on Chinese Cultural Sphere II	1後	2	○					1			
	Study on Chinese Cultural Sphere III	2前	2	○					1			
	Study on Chinese Cultural Sphere IV	2後	2	○					1			
	Modern Japan in East Asian History I	1前	2	○					1			
	Modern Japan in East Asian History II	1後	2	○					1			
	Modern Japan in East Asian History III	2前	2	○					1			
	Modern Japan in East Asian History IV	2後	2	○					1			
	Overseas Chinese and Transnational Asia I	1前	2	○			1					
	Overseas Chinese and Transnational Asia II	1後	2	○			1					
	Overseas Chinese and Transnational Asia III	2前	2	○			1					
	Overseas Chinese and Transnational Asia IV	2後	2	○			1					
	Regional Architecture in Asia I	1前	2	○			1					
	Regional Architecture in Asia II	1後	2	○			1					
	Regional Architecture in Asia III	2前	2	○			1					
	Regional Architecture in Asia IV	2後	2	○			1					
	Transnational Migration in Asia I	1前	2	○			1					
	Transnational Migration in Asia II	1後	2	○			1					
	Transnational Migration in Asia III	2前	2	○			1					
	Transnational Migration in Asia IV	2後	2	○			1					
歴史学拠点コース	総合演習(歴史学拠点コース) A I	1前	2	○		4	2			1		
	総合演習(歴史学拠点コース) A II	1後	2	○		4	2			1		
	総合演習(歴史学拠点コース) A III	2前	2	○		4	2			1		
	総合演習(歴史学拠点コース) A IV	2後	2	○		4	2			1		
	総合演習(歴史学拠点コース) B I	1前	2	○			1					
	総合演習(歴史学拠点コース) B II	1後	2	○			1					
	総合演習(歴史学拠点コース) B III	2前	2	○			1					
	総合演習(歴史学拠点コース) B IV	2後	2	○			1					
	総合演習(歴史学拠点コース) C I	1前	2	○		2						
	総合演習(歴史学拠点コース) C II	1後	2	○		2						
	総合演習(歴史学拠点コース) C III	2前	2	○		2						
	総合演習(歴史学拠点コース) C IV	2後	2	○		2						
	総合演習(歴史学拠点コース) D I	1前	2	○		1				1		
	総合演習(歴史学拠点コース) D II	1後	2	○		1				1		
	総合演習(歴史学拠点コース) D III	2前	2	○		1				1		
	総合演習(歴史学拠点コース) D IV	2後	2	○		1				1		
	総合演習(歴史学拠点コース) E I	1前	2	○				3				
	総合演習(歴史学拠点コース) E II	1後	2	○				3				
	総合演習(歴史学拠点コース) E III	2前	2	○				3				
	総合演習(歴史学拠点コース) E IV	2後	2	○				3				

国際コース (歴史学拠点)	Integrated Seminar(History Core Division Course) A I	1前	2		○	1	1					
	Integrated Seminar(History Core Division Course) A II	1後	2		○	1	1					
	Integrated Seminar(History Core Division Course) A III	2前	2		○	1	1					
	Integrated Seminar(History Core Division Course) A IV	2後	2		○	1	1					
	Integrated Seminar(History Core Division Course) D I	1前	2		○			1				
	Integrated Seminar(History Core Division Course) D II	1後	2		○			1				
	Integrated Seminar(History Core Division Course) D III	2前	2		○			1				
	Integrated Seminar(History Core Division Course) D IV	2後	2		○			1				
小計 (528科目)		—	14	1040		—	30	30	5	2		兼9
合計 (568科目)		—	24	1106		—	30	30	5	2		兼9
学位又は称号	修士 (学術、理学)	学位又は学科の分野			文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 法学関係							

I. 設置の趣旨及び必要性（博士前期課程）

1. 設置の背景

九州大学大学院比較社会文化学府（以下「**比文**」とする）は、1994年の設置にあたって、「諸外国との比較において日本の社会文化を研究し、日本との比較において諸外国の社会文化を探究する視座」を特に重視することを謳い、その理念に合わせて、「日本社会文化専攻」と「国際社会文化専攻」の2専攻を置いた。しかし、20年を経て世界も日本も大きく変わり、この2専攻への分割は、真に学際的な研究を志す意欲的な学生のチャレンジを妨げていることが明らかとなった。

また、社会からの要請も切実である。各種の地球的諸問題への取組の必要性は繰り返し指摘されてきたが、特に東日本大震災を契機に明らかとなった日本社会のシステム全体の脆弱性を克服することは急務であり、そのためにも、文理の枠を超えて自然科学・社会科学・人文科学に架橋する真に統合的な学際性にもとづく大学院の設置を社会が必要としている。

以上の理由から九州大学は比文を廃止し、**地球社会統合科学府**（Graduate School of Integrated Sciences for Global Society）、**地球社会統合科学専攻**（Department of Integrated Sciences for Global Society）（以下「**本学府**」「**本専攻**」とする）を設置する。

2. 本学府の特徴

（1）教育研究上の理念・目的—地球社会的な視野に立つ統合的な学際性

人類がグローバルに直面している問題を正しく把握し、その課題の解決に取り組むために、地球という惑星の上で他の生物とともに生きている人間の社会に照準を定めた、**地球社会的な視野**に立つ教育研究が求められている。また、人類が直面している問題は多様かつ複雑に絡み合っており、それらの問題の究明と解決は、様々な研究分野の学際的な連携による文理の枠を超えた真に**統合的な学際性**によってはじめて対処し得る。

本学府は、「**地球社会的視野に立つ統合的な学際性**」という理念・目的にもとづく教育研究を行い、以上の社会の要請に応える。

（2）養成する人材像

本学府は、人類と他の生物にとっての生存圏である「地球社会」というシステムとそれに密接に関連するグローバルな人類的諸課題を文理の枠を超えた真に統合的な学際性に立脚して究明するとともに、これまでにない新たな解を提案して世界と地域をリードする、包括型の高度専門職業人並びに卓越した研究者の養成を社会的使命（ミッション）と定める

博士前期課程では、軸足を置く専門科学の基礎を固めつつ、自らの問題意識を「地球社会的な視野」のなかに位置付け、狭い専門領域に自らを閉じ込めてしまわない「統合的な学際性」に基づいた研究を自主的に遂行できる人材を養成する。また、現実社会の問題の解決に、多様な人々と柔軟に連携しながら自ら取り組むことのできる実践力をも併せて習得させる。

（3）人材養成の仕組みと進路

①統合的な学際性を実現する科目履修—keywordのスペクトラムと6つのコース

本専攻の教育研究の射程は、**図1**にあるような相互に関連した「**Keywordのスペクトラム**」で表現され、これらのゆるやかに繋がる非常に多岐にわたる研究領域を対象とする教育活動を効果的に実施するために、教育研究の対象領域を**6つの「コース」**に編成し、それぞれに対応する科目群を配置する。

1) 「包括的地球科学コース」

～地球史的な観点から人類存立の物質的基盤のダイナミズムを探究する～

2) 「包括的生物環境科学コース」

～生物多様性の保全という観点から、地球生命が直面する諸課題の解決に挑戦する～

3) 「国際協調・安全構築コース」

～地球社会の安全という観点から、公正で平和な世界を構想する～

4) 「社会的多様性共存コース」

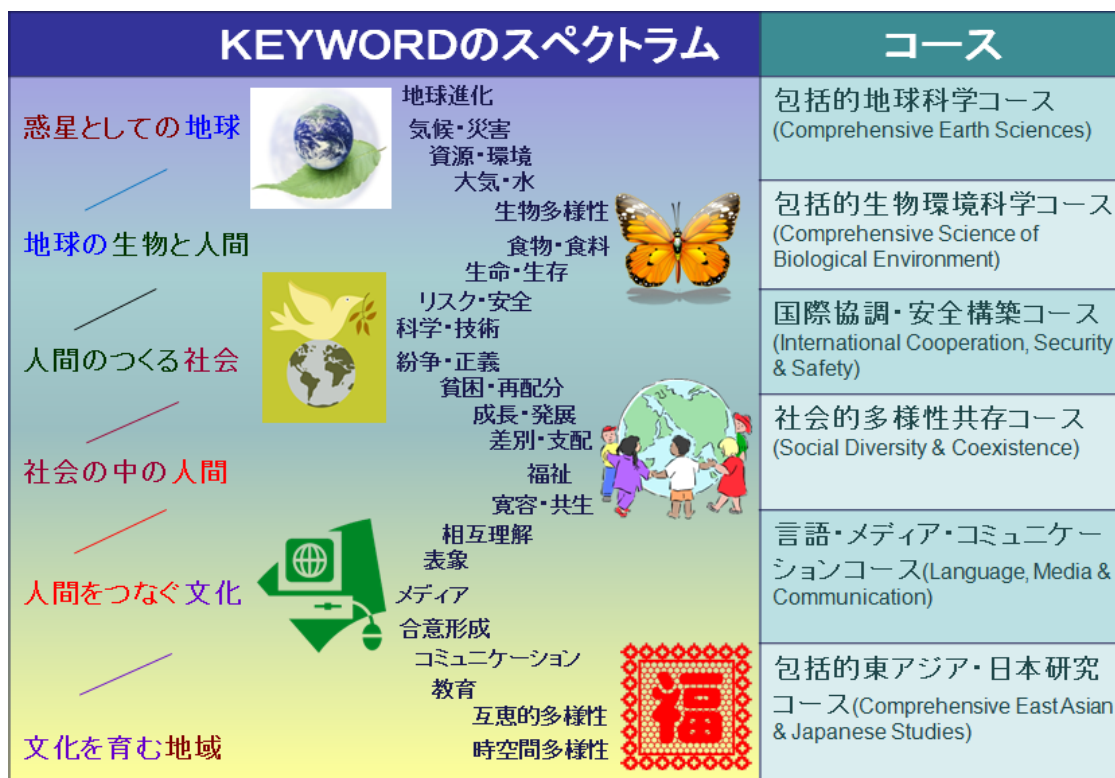
～地球上の多様な社会の共存をめざして、社会の互恵的な基盤を探究する～

5) 「言語・メディア・コミュニケーションコース」

～地球社会の相互理解という観点から、人類のコミュニケーションを解明する～

6) 「包括的東アジア・日本研究コース」

～東アジアの歴史・環境を包括的に究明し、人類社会の未来を構想する～



【図1】相互に関連した「Keywordのスペクトラム」

博士前期課程の各学生は、6コースのなかから、自らの研究の主軸となる分野のカリキュラム群である「メインコース」と自らの研究の幅を広げて補完するカリキュラム群である「サブコース」を選び、各自の具体的な学際的研究プロジェクトを推進する。

②フィールド調査と外国語による発信能力の重視

「地球社会」を舞台にした「地に足のついた」調査研究能力と実践力を育むため、複数のフィールド調査科目、及び外国語での発信能力を高める科目を配置する。

③複数指導教員団制

各学生の希望に従い、各学生に1名の**主指導教員**と2名以上の**副指導教員**からなる指導教員団が編成される。**主指導教員**は、学生の研究上の指導を行うほかに指導教員団の意思疎通の調整をはかる。主指導教員は学生が選択するメインコースの担当教員から選ぶ。副指導教員の1名はサブコースのコース担当教員から選び、残りの1名については標準的にはメインコースのコース担当教員から選ぶ。このようにして、多様な分野を専門とする指導教員団を構成し、幅広い観点からの研究指導を実施し、統合的な学際性の涵養を支援する。

④進路

修了者は、約半数は本学府を含む国内外の博士後期課程に進学し、他の半数はコースの組み合わせによる研究を通じて身につけた「統合的な学際性」、狭い専門分野を越えた問題認識力、幅広い視野からの解決策の模索力、チーム連携による実行力を武器に、国際機関、政府や自治体、企業、NGO/NPO等の場で、高度専門職業人として活躍することが期待される。

3. 設置の必要性

現代世界が直面している問題は、**文理の枠を超えた真に統合的な学際性**によってはじめて対処し得るものであることは、繰り返し指摘されている。「平成 23 年度科学技術の振興に関する年次報告」も、喫緊の社会的課題の克服のためには、「社会に対する洞察力や柔軟な発想、俯瞰的視野、国際的感覚等を身につけた人材」を育成するための「大学・大学院における自然科学と人文・社会科学とを融合した教育・研究プログラム」の実施が必要であると述べている。また、高等教育に対する**経済界からの要請**に係って、日本経済団体連合会が企業を対象に行ったアンケート調査の結果によると、「グローバルに活躍する日本人材に求められる素質、知識、能力」として「既成概念にとらわれず、チャレンジ精神を持ち続ける」という回答が最も多かった（596 社中 419 社：『産業界の求める人材像と大学教育への期待に関するアンケート結果』日本経済団体連合会、2011 年 1 月）。

これらの社会的要請を博士前期レベルの人材育成課題として受け止めるとき、**地球社会的視野に立つ統合的な学際性の徹底**という今回の改組は、その要請に適うものといえる。改組においては実質的な学際基礎教育を重視しており、すべての学生が、学士課程で学んだ学問を足場にしつつ、地球社会の直面する複雑な諸問題にどのような形で諸学問が連携して対処しうるかを学ぶことになる。そこでは、狭い専門分野にとどまらない幅広い視野からの問題の把握と解決策の模索、その実行に必要なチーム連携といった基礎力の養成を企図している。これらの基礎力は、前述の人材像で求められる諸能力を大学院レベルで捉えたものといえる。比文在学生及び、本学の学際融合型学士課程である 21 世紀プログラム在学生へのアンケート調査でも、本学府が「社会の要請に応えるもの」と評価した回答は、それぞれ 70%、79%に上った。

なお、前述の日本経済団体連合会の 2011 年調査結果では、247 社（42%）が「外国人材を継続的に採用し、現在も雇用している」と回答している。日本本社において採用される外国人の中で、国内大学等の留学生の新規採用が 6 割を占め、増加傾向にある。この調査結果は留学生の高度専門職業人に対する需要増加を示すものであり、比文の実績にも示され、今後も引き続き力を注ぐ基礎力を備えた留学生の教育は、グローバル人材の育成という社会的ニーズに応えるものである（本学府の改組案に対する九州大学の外からの期待の声については、別添資料を参照）。

II. 教育課程の編成の考え方及び特色

1. 教育課程の特徴

（1）地球社会への俯瞰的な視野から確かな専門性へ—3 つの科目群

従来の学問枠組みそれ自体を批判的に吟味しながら、現在の地球社会が直面する問題を解明するための教育課程を整える。「**共通科目**」の中核をなす「地球社会統合科学」において、keyword のスペクトラムに即した幅広い知識と地球社会の諸問題に対する俯瞰的な視野を身につけ、地球社会の中核的な問題領域から構成されるコースごとの「**基礎科目**」、さらに「**専門科目**」を通して、専門の基礎から先端的な研究や技能の修得へとつなげる。

（2）個々の学問の枠をのりこえる統合的な学際性—メインコースとサブコース

メインコースで自ら選択した研究分野に関する科目のみならず、**サブコース**の他の領域に関する科目をも履修することにより、自己の研究を外の視点からの的確に位置づけながら、他の領域と協力して地球社会

の課題の解決にあたることのできる統合的な学際性を養う。

(3) 地球社会を舞台にした独創性と実践性

地球社会の諸問題を解決するという点から、これまでの制度化された学問の枠を超える独創性と、また学問の社会的な意義を実現するための実践性を涵養する。「地球社会フィールド調査法」と「外国語ライティング科目」を新設し、地球社会を舞台に活動するための実践的研究技法と国際的発信力を学び、「チュートリアル」「個別研究指導」により、独創的な研究能力の育成を支援する。

2. 設置する科目と修了要件

(1) **修了要件** 博士前期課程では、以下に説明する科目を履修規定に従って 33 単位以上を修得することを、修了要件とする。

○**共通科目 (6 単位必修)** : 「チュートリアル I」(1 単位)、「地球社会統合科学」(2 単位)、「地球社会フィールド調査法」(1 単位) は第 1 学期必修。「外国語ライティング」(日本人は英語、留学生は日本語または英語 : 2 単位) は第 1 学期または第 2 学期必修。

○**基礎科目 (4~8 単位)、専門科目 (基礎科目を 8 単位修得の場合は 19 単位。同 4 単位の場合は 23 単位)** : 基礎科目は 4~8 単位を選択必修。専門科目の「フィールド調査実習」(1 単位) は第 2 学期以降、必修。同「総合演習」は 6 単位を選択必修。同「演習」は 6~10 単位を選択必修。同「個別研究指導」は第 2 学期以降、6 単位必修。

○**メインとサブ** : メインコースについては、基礎科目から 2 単位以上、総合演習から 6 単位以上、演習から 6 単位以上を履修する。サブコースについては、基礎科目、総合演習、演習からあわせて合計 6 単位以上 (基礎科目から 2 単位以上必修) を履修する。

(2) **共通科目** すべての学生が 1 年次に共通に履修する必修科目。

「**チュートリアル I**」: 入学後の第 1 学期に、学生一人ひとりのキャリアプラン・研究内容・希望に応じて配置されたチューター教員によって行う「チュートリアル」(履修・研究指導)により、メインコース及びサブコースの選択、第 2 学期以降の研究指導を行う指導教員団の構成などに関して助言を与え、2 年間の履修計画の策定へと導く。その過程で他の共通科目の学修を支援するとともに、各自の個別研究を深化させるに先立って「地球社会的視野に立つ統合的な学際性」という本専攻の理念を涵養する。

「**地球社会統合科学**」: 地球社会の諸問題を整理した keyword のスペクトラムを相互に関連づけながら学修する。これにより、専門の研究を深める基礎となる広角の問題意識と幅広い基盤的教養の涵養をはかる。

「**地球社会フィールド調査法**」: さまざまなフィールドを調査するための研究技法を学ぶ。具体的には、調査計画の立案方法、資料文献収集、データ収集 (実験系、社会調査系)、調査研究上の倫理、社会的還元の方法等を学修する。

「**外国語ライティング**」: 日本人学生には英語、留学生には日本語または英語によるライティングの実践、資料引用の仕方など、研究者としての基本的態度もあわせて学ぶ。

(3) **基礎科目** 6 つのコースの主題に即した学際的入門講義。下記の A~D のようにテーマを 3 ないし 4 つに分けて設置し、より特定のコース主題から地球社会の諸問題を捉え直し、アプローチの方法や、先行の理論や学説などの基礎的知識の修得を図る。

「包括的地球科学 A, B, C, D」, 「包括的生物環境科学 A, B, C, D」, 「国際協調・安全構築論 A, B, C, D」, 「社会的多様性共存論 A, B, C」, 「言語・メディア・コミュニケーション論 A, B, C, D」, 「包括的東アジア・日本研究 A, B, C」

(4) 専門科目 共通・基礎の学習を土台に、実践性や専門性を深く究めるための科目。

「フィールド調査実習」：学生の専門領域に関わる調査や実習、社会体験等を指導教員の指導のもとに実施する必修の実習科目。調査・実習・体験の期間や内容の基準を満たしたものを主指導教員が単位として認定する。

「総合演習」：関連領域の複数教員で実施する演習。文献講読、プレゼンテーション、討論など、学術研究のための専門的な技法や態度を身に付けるとともに、問題を究明するために求められる複数の観点や、種々のアプローチの方法を学ぶ。

「演習」：個々の教員による演習。高度な専門性の修得と自立した研究能力の育成をはかる。

「個別研究指導」：指導教員団による研究、論文執筆指導を行う必修科目。研究計画の立案から、論文執筆にいたるまで、個々の学生に応じた指導を実施する。

学生が以上の諸科目をどのように体系だって履修するかについては、図2のカリキュラムマップ例を参照されたい。必修の共通科目と、サブコース基礎科目・総合演習・演習から6単位以上の選択履修により、統合的学際性およびフィールド主義に立脚した専門性の探求が担保されている。このようなメインとサブの組合せは理論上30通りあり、学生の多様な学際的関心に応えることができる。

	共通科目	基礎科目	専門科目	
2年後期			総合演習(国際協調・安全構築)IV	個別研究指導III
2年前期			総合演習(包括的地球科学)AI	演習(グローバル・ガバナンス論II)
			総合演習(国際協調・安全構築)III	演習(エネルギー安全保障論III) 演習(地球構成物質論III)
1年後期		国際協調・安全構築C	フィールド調査実習	演習(途上国産業発展論II)
		国際協調・安全構築D	総合演習(国際協調・安全構築)II	演習(グローバル・ガバナンス論I)
1年前期	チュートリアルI	包括的地球科学A	総合演習(国際協調・安全構築)I	演習(エネルギー安全保障論I)
	地球社会統合科学 地球社会フィールド調査法 外国語ライティング	国際協調・安全構築B		

【図2】カリキュラムマップ具体例

(国際協調・安全構築コースをメイン、包括的地球科学コースをサブとした場合)

(5) 歴史学拠点コースと国際コース

6つのコースとは別に、現在の比文に設置されている2つの履修コース（歴史学拠点コースと国際コース）を本学府にも引き継ぎ、以下のような別個の履修要件を定める

①歴史学拠点コース

21世紀COEプログラム「東アジアと日本：伝統と変容」（2003-2007）の蓄積を生かし、比文と人文科学府をまたいで実施してきた「歴史学拠点コース」の選択を希望する学生は、「総合演習（歴史学拠点コース）」から2科目4単位以上を修得すること。ただし、包括的東アジア・日本研究コースをメインコ

ースとするものは、この修得単位を4単位を上限として修了要件であるメインコース総合演習6単位以上のなかに含めることができる。

②国際コース

英語で教育を行う国際コースの学生に対しては、国際コース独自の履修科目を設ける。

- 1) 「地球社会フィールド調査法」（1単位）に替えて「チュートリアルⅡ」（1単位）を必修とする。チューター教員による履修方法、研究方法の指導である「チュートリアルⅠ」に加えて、「チュートリアルⅡ」では、英語による丁寧なコミュニケーションをとおして、調査方法を中心とした導入的な研究指導を行う。
- 2) 「外国語ライティング」（2単位）に替えて、基礎科目「包括的東アジア・日本研究」から1科目（2単位）を選択履修する。日本に来た学生に対して、日本の文化や歴史を学ぶ機会を提供し、来日経験を学問的に深め、今後の研究・生活の基盤とすることを目的とする。

3. 取得できる学位

本学府の学位に付記する専攻分野の名称の基本は「学術」とする。ただし「包括的地球科学コース」または「包括的生物環境科学コース」をメインとして履修した修了予定者、並びに「包括的東アジア・日本研究コース」で理学分野の専門的素養を十分に身につけている修了予定者については、修士論文提出後に設置される「修士論文調査委員会」において履修科目及び研究テーマを審査の上、修士（理学）を授与する。英語名称は、国際的な通用性に留意して、修士（学術）を Master of Arts、修士（理学）を Master of Science とする。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>◎修了要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程に2年以上在学し、以下の履修規定に従って33単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 <p>○共通科目（6単位必修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チュートリアルI」（1単位）、「地球社会統合科学」（2単位）、「地球社会フィールド調査法」（1単位）は第1学期必修。「外国語ライティング」（日本人は英語、留学生は日本語または英語：2単位）は第1学期または第2学期必修。 ・国際コースの学生も「チュートリアルI」と「地球社会統合科学」は必修。ただし、「地球社会フィールド調査法」に代えて「チュートリアルII」（1単位）を、また、「外国語ライティング」に代えて基礎科目「包括的東アジア・日本研究」から1科目（2単位）を選択履修する。なお、国際コースの修了要件の総単位数は他と変わらない。 <p>○基礎科目（4～8単位）、専門科目（基礎科目を8単位修得の場合は19単位。同4単位の場合は23単位。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎科目は4～8単位を選択必修。専門科目の「フィールド調査実習」（1単位）は第2学期以降、必修。同「総合演習」は6単位を選択必修。同「演習」は6～10単位を選択必修。同「個別研究指導」は第2学期以降、6単位必修。 ・メインコースについては、基礎科目から2単位以上、総合演習から6単位以上、演習から6単位以上を履修する。サブコースについては、基礎科目、総合演習、演習からあわせて合計6単位以上（基礎科目から2単位以上必修）を履修する。 <p>○歴史学拠点コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史学拠点コース」の選択を希望する学生は、「総合演習（歴史学拠点コース）」から2科目4単位以上を修得すること。ただし、包括的東アジア・日本研究コースをメインコースとするものは、この修得単位を4単位を上限として修了要件であるメインコース総合演習6単位以上のなかに含めることができる。 <p>◎備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学府開講の科目ならびに大学院共通科目のうち、本学府があらかじめ定めた科目については、本学府の修得単位として認定する。 	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要(事前伺い)

(地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	博士総合演習 I	1・2前	2				○		29	30	5				兼3
	博士総合演習 II	1・2後	2				○		29	30	5				兼3
	博士演習 I	1・2前		2			○		29	30	5				兼3
	博士演習 II	1・2後		2			○		29	30	5				兼3
	博士個別研究指導	1・2・3通年	4				○		29	30	5				兼3
歴史学拠点	博士総合演習(歴史学拠点コース) I	1・2前		2			○		7	5	1				
	博士総合演習(歴史学拠点コース) II	1・2後		2			○		7	5	1				
国際コース	Doctoral Integrated Seminar I	1・2前	2				○		8	13	5				兼3
	Doctoral Integrated Seminar II	1・2後	2				○		8	13	5				兼3
	Doctoral Seminar I	1・2前		2			○		8	13	5				兼3
	Doctoral Seminar II	1・2後		2			○		8	13	5				兼3
	Doctoral Dissertation Advising	1・2・3通年	4				○		8	13	5				兼3
国際コース(歴史学拠点)	Doctoral Integrated Seminar(History Core Division Course)	1・2前		2			○		1	1	1				
	Doctoral Integrated Seminar(History Core Division Course)	1・2後		2			○		1	1	1				
	小計(14科目)	—	16	16			—		29	30	5				兼3
	合計(14科目)	—	16	16			—		29	30	5				兼3
学位又は称号	博士(学術、理学)		学位又は学科の分野				文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 法学関係								

I. 設置の趣旨及び必要性 (博士後期課程)

1. 設置の背景

九州大学大学院比較社会文化学府（以下「比文」とする）は、1994年の設置にあたって、「諸外国との比較において日本の社会文化を研究し、日本との比較において諸外国の社会文化を探究する視座」を特に重視することを謳い、その理念に合わせて、「日本社会文化専攻」と「国際社会文化専攻」の2専攻を置いた。しかし、20年を経て世界も日本も大きく変わり、この2専攻への分割は、真に学際的な研究を志す意欲的な学生のチャレンジを妨げていることが明らかとなった。

また、社会からの要請も切実である。各種の地球的諸問題への取組の必要性は繰り返し指摘されてきたが、特に東日本大震災を契機に明らかとなった日本社会のシステム全体の脆弱性を克服することは急務であり、そのためにも、文理の枠を超えて自然科学・社会科学・人文科学に架橋する真に統合的な学際性にもとづく大学院の設置を社会が必要としている。

以上の理由から九州大学は比文を廃止し、**地球社会統合科学府** (Graduate School of Integrated Sciences for Global Society)、**地球社会統合科学専攻** (Department of Integrated Sciences for Global Society) (以下「本学府」「本専攻」と略す)を設置する。

なお今回の改組では、博士前期課程と博士後期課程を同時開設する。その理由は、以下のとおりである。

- (1) 新しい教育研究上の理念・目的を掲げた本学府に対する社会的ニーズにいち早く応え、本学府の教育成果たる学位を、修士号のみならず博士号も速やかに授与することができる。
- (2) 比文前期課程に在学する学生の進路として、出来るだけ早く本学府博士後期課程を用意し、新しい大学院教育を受けさせることが可能になる。
- (3) 比文は、博士後期課程からの編入者を、各年度、相当数うけいれてきた実績をもつ。独立大学院である本学府も、他大学の大学院の博士前期課程修了者の同様あるいはなお一層のニーズが見込まれるため、学年進行をまたずに博士後期課程も同時に開設することにより、その社会的ニーズに対応することが可能になる。

2. 本学府の特徴

(1) 教育研究上の理念・目的—地球社会的な視野に立つ統合的な学際性

人類がグローバルに直面している問題を正しく把握し、その課題の解決に取り組むために、地球という惑星の上で他の生物とともに生きている人間の社会に照準を定めた、**地球社会的な視野**に立つ教育研究が求められている。また、人類が直面している問題は多様かつ複雑に絡み合っており、それらの問題の究明と解決は、様々な研究分野の学際的な連携による文理の枠を超えた真に**統合的な学際性**によってはじめて対処し得る。

本学府は、「**地球社会的視野に立つ統合的な学際性**」という理念・目的にもとづく教育研究を行い、以上の社会の要請に応える。

(2) 養成する人材像

本学府は、人類と他の生物にとっての生存圏である「地球社会」というシステムとそれに密接に関連するグローバルな人類的諸課題を文理の枠を超えた真に統合的な学際性に立脚して究明するとともに、これまでにない新たな解を提案して世界と地域をリードする、包括型の高度専門職業人並びに卓越した研究者の養成を社会的使命（ミッション）と定める。

博士後期課程では、博士前期課程で培った「地球社会的視野に立つ統合的な学際性」及び専門的・学術的な基礎や実践力を高度に発展させながら、世界レベルで高い影響力をもつ独創的な研究成果を生み出

し、力強く発信できるような専門家としての能力の育成を目指す。統合的な学際性に裏打ちされた広い視野に立つ専門職業人や研究者の育成という点で、本学府の博士後期課程では、個別科学の専門性を最優先する九州大学内の他学府とは異なる人材が養成される。

(3) 人材養成の仕組みと進路

①統合的な学際性を土台とする専門性の深化

本専攻の教育研究の射程は、相互に関連した「Keyword のスペクトラム」で表現された広い範囲にわたっているため、教育を効果的に実施するために教育研究の対象領域を6つの「コース」に編成している。博士前期課程では、共通科目ならびに、メインコースおよびサブコースの基礎科目および専門科目の学習を通じて総合的な学際性を身につけることに主眼を置く。博士後期課程では、そのようにして身につけた学際的な素養を土台として、専門性をより深化・発展させて、世界水準の研究能力を修得し、独創的な学位論文を完成することを重視する。したがって、博士後期課程の学生は、コースを選択せず、複数学問分野にわたる指導教員団（後述）のきめ細かな指導の下に、各自の研究プロジェクトを推進して学位論文を完成する。なお、博士後期課程編入者については、博士前期課程でも開講される「共通科目」（後述）の一部を必修とすることで、統合的な学際性の素養を補強する。

②複数指導教員団制

各学生の希望に従い、各学生に1名の**主指導教員**と2名以上の**副指導教員**からなる指導教員団が編成される。**主指導教員**は、学生の研究上の指導を行うほかに、教務手続き上の世話役となり、指導教員団の意思疎通の調整をはかる。また、博士論文の受理にあたっては、博士論文予備調査委員の主査をつとめる。指導教員団が構成されることによって学生は、教員団の幅広い専門から研究上の多面的な助言を得ながら研究を推進することが可能となり、その結果、専門分野において最高水準の論文でありながら、学際的なひろがりをもつ論文を完成することが可能になる。また、主指導教員の責任を明記することにより、指導教員団の指導上の役割分担を明確化する。

③進路

博士後期課程の修了者は、大学をはじめとする内外の高等教育機関及び研究機関（企業の研究部を含む）での研究や教育、国際機関や政府機関などでの政策の立案や遂行に従事することを予定している。高度な専門性を有するとともに、本学府の教育研究上の理念・目的にそった文理にまたがる知の統合を国際的に牽引する卓越した研究者としての活躍が、また、留学生であれば、出身国に戻って第一線の高等研究教育及び国際学術交流に貢献する研究者としても活躍することが期待される。

3. 設置の必要性

現代世界が直面している問題は、**文理の枠を超えた真に統合的な学際性**によってはじめて対処し得るものであることは、繰り返し指摘されている。「強くたくましい社会の構築に向けて」という副題をもつ『平成23年度科学技術の振興に関する年次報告』（文部科学省）は、東日本大震災への対応の問題点を検証し、「人文・社会科学等も含めた分野間の知の結集」が必要であると指摘しているし、「平成23年度科学技術の振興に関する年次報告」も、喫緊の社会的課題の克服のためには、「異分野の知を結集した課題対応型の研究開発を行うことができる研究人材」「社会に対する洞察力や柔軟な発想、俯瞰的視野、国際的感覚等を身につけた人材」を育成するための「大学・大学院における自然科学と人文・社会科学とを融合した教育・研究プログラム」の実施が必要であると述べている。そのような社会的要請を受けて、多くの大学で教育研究の学際的取組の必要性に対する認識が高まりながらも、そうした取組に適切に関わることができる人材の不足が課題になっている。

今回の改組は、**統合的な学際性を実質化した研究者養成**に取り組むことで新たな学問領域の開拓を企図しているが、これは、教育現場で学際的取組を主導し得る人材を養成するという社会的ニーズに応えるものといえる（本学府の改組案に対する九州大学の外からの期待の声については、別添資料を参照）。

II. 教育課程の編成の考え方及び特色

1. 教育課程の特徴

(1) 地球社会への俯瞰的な視野の涵養

従来の学問枠組みそれ自体を批判的に吟味しながら、現在の地球社会が直面する問題を解明するための教育課程を整える。そのために、博士前期課程では、地球社会の諸問題を keyword のスペクトラムに基づいて学ぶ共通科目を課しており、博士後期課程では、そこで身につけた俯瞰的な視野が世界水準の独創的な研究につながるよう指導する。また、博士後期課程編入者には、博士課程基礎科目として「**地球社会統合科学**」「**地球社会フィールド調査法**」を必修とし、地球社会の諸問題に対する俯瞰的な視野と幅広い知識を涵養する。

(2) 高度な専門能力の錬成

自立した研究者としてアカデミアや社会で活躍できるための研究能力を養成する。そのために、個々の教員による専門科目である「**博士演習**」に加えて、複数の教員が指導に参画する「**博士総合演習**」を必修化し、問題に対する多面的なアプローチを修得できるようにする。また、主指導教員による「**博士個別研究指導**」を単位化し、博士論文の執筆を手厚く支援する態勢を整える。

(3) 地球社会の現実に向き合う研究テーマの追求

地球社会の諸問題と深く結びついた研究テーマの探究をつうじて、制度的に固定化された学問の壁を超える独創的な研究を推進する。国内のみならず国際的な調査・研究への参加を支援し、博士論文の審査では学外の委員による評価と指導を積極的に取り入れる。

2. 設置する科目と修了要件

(1) 設置する科目と修了要件：本学府博士前期課程からの進学者の場合

博士後期課程の設置科目は以下の通りである。本学府の博士前期課程からの進学者は、規定の履修方法にしたがってこれらの科目から 12 単位以上修得することを、修了要件とする。

「**博士総合演習**」(2 単位)：4 単位以上、必修。複数の教員とともに実施する演習。文献講読、プレゼンテーション、討論など、学術研究のための専門的な能力を磨くとともに、問題を究明するために求められる複数の観点や、種々のアプローチの方法を学ぶ。

「**博士演習**」(2 単位)：4 単位以上、選択必修。個々の教員による演習。高度な専門性の修得と、自立した研究能力の育成をはかる。

「**博士個別研究指導**」(通年 4 単位)：4 単位以上、必修。主指導教員による研究、論文執筆指導。研究計画の立案から、論文執筆にいたるまで、個々の学生に応じた指導を実施する。

(2) 設置する科目と修了要件：編入者の場合

博士後期課程編入者には、本学府の理念に則して広角の問題意識と幅広い基盤的教養及び方法論的知識を共有するために、次の博士前期課程共通科目の履修を必修とする。したがって編入者については、上記にこれら 3 単位を加えた 15 単位以上を修了要件とする。

「**地球社会統合科学**」(2 単位)：keyword のスペクトラムに則して地球社会の諸問題を相互に関連づけながら学修し、専門の研究を統合的学際性に立脚して行う基礎を養う。

「**地球社会フィールド調査法**」(1 単位)：さまざまなフィールドを調査するための研究技法、すなわち、調査計画の立案方法、資料文献収集、データ収集(実験系、社会調査系)、調査研究上の倫理、社会的還元の方法等を学修し、方法論的側面から専門の研究を統合的学際性に立脚して行う基礎を養う。

(3) 歴史学拠点コースと国際コース

現在比文において設置されている2つの履修コース（歴史学拠点コースと国際コース）を本学府でも設置し、別途以下の履修要件を定める。

- ①**歴史学拠点コース** 21世紀COEプログラム「東アジアと日本：伝統と変容」（2003-2007）の蓄積を生かし、人文科学府と協同で実施するコース。本コースの選択を希望する学生は「博士総合演習（歴史学拠点コース）」を2科目4単位、修得しなければならない。ただし、主指導教員が関わる「博士総合演習（歴史学拠点コース）」を修得した場合は、4単位を上限に博士総合演習の修了要件に含めることができる。
- ②**国際コース** 高度の英語能力を身につけてグローバルな局面で活躍できる研究者、あるいは異文化を理解する高度専門職業人の育成をはかるため、英語で教育を行うコース。修了要件は通常の博士後期課程に準ずる。ただし、編入者に対しては、「博士演習」4単位、「博士総合演習」4単位、「博士個別研究指導」4単位に加えて、博士前期課程の科目である「**地球社会統合科学**」（2単位）と「**チュートリアルⅡ**」（1単位）の履修を必修とする。

博士後期課程の標準的なカリキュラムマップを、後に説明する学位取得プロセスとあわせて、図1に示す。

	共通科目	修学プロセス	学位取得プロセス
3年後期			論文調査委員会による審査・最終試験 学位論文審査願提出(受理審査) 予備調査(提出資格取得) 博士論文提出資格申請
3年前期		博士個別研究指導 博士研究記録・計画書	博士論文中間発表
2年後期		博士個別研究指導 博士研究記録・計画書	
2年前期		博士演習Ⅰ 博士研究記録・計画書	
1年後期	編入学者は これらも履修	博士個別研究指導 博士演習Ⅱ 博士総合演習Ⅱ	博士研究記録・計画書
1年前期	地球社会統合科学 地球社会フィールド調査法	博士個別研究指導 博士総合演習Ⅰ	博士研究記録・計画書

【図1】博士後期課程の標準的なカリキュラムマップ及び学位取得プロセス

3. 学位

(1) 学位取得までのプロセス

本学府の博士後期課程の学生が博士論文を提出するには、規定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けなければならない。教員は、以下のように修学の諸段階において、学生に対する履修指導・研究指導を実施し、学位取得を支援する。

「博士研究記録・計画書」の提出（各学期末）→「博士論文中間発表」（第5学期）→「論文提出資格取得申請書類」の提出→「予備調査委員会の設置」と「論文提出資格」の付与→「予備調査」→「学位論文受理の可否」の審議と「論文調査委員会」の設置→「論文調査委員会」による論文の審査及び公開による最終試験→「学位授与資格有無の決定」の審議。

(2) 取得できる学位

本学府の学位に付記する専攻分野の名称の基本は「学術」とする。ただし理学分野の専門的素養を十分に身につけている修了予定者については、博士論文提出資格の取得時に設置される「予備調査委員会」において履修科目及び研究テーマを審査の上、博士（理学）を授与する。英語名称は国際的な通用性に留意して、博士（学術）を Doctor of Philosophy、博士（理学）を Doctor of Science とする。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>○修了要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 博士後期課程を修了するための要件は、以下の履修方法にしたがって、本学府の博士前期課程からの進学者については、12単位以上を修得すること、博士後期課程編入者に関しては、上記の12単位以上に加えて博士前期課程の共通科目から下記の3単位を修得することである。一般の編入者は「地球社会統合科学」（2単位）・「地球社会フィールド調査法」（1単位）、国際コースの編入者は、「地球社会統合科学」（2単位）・「チュートリアルII」（1単位）の3単位である。 	1 学年の学期区分	2 期
<p>○履修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 「博士総合演習」（2単位）は4単位以上の必修。「博士演習」（2単位）は4単位以上の選択必修。「博士個別研究指導」（通年4単位）は4単位以上の必修。 博士後期編入者には、上記の「博士総合演習」、「博士演習」、「博士個別指導研究」に加えて、「地球社会統合科学」（2単位）及び「地球社会フィールド調査法」（1単位）を必修とする。 国際コースに編入した学生に対しては上記の「博士総合演習」、「博士演習」、「博士個別研究指導」に加えて、「地球社会統合科学」（2単位）及び「チュートリアルII」（1単位）を必修とする。 	1 学期の授業期間	15 週
<ul style="list-style-type: none"> 「歴史学拠点コース」の選択を希望する学生は、「博士総合演習（歴史学拠点コース）」を2科目4単位を修得すること。ただし、主指導教員が関わる「博士総合演習（歴史学拠点コース）」を修得した場合は、4単位を上限に博士総合演習の修了要件に含めることができる。 	1 時限の授業時間	90 分

地球社会統合科学府への各界からの期待の声

●進学先として魅力的とする近隣大学からの期待の声

「本学の卒業生・修了生にとっても大変魅力ある大学院であると思われ、社会的に大きな需要がある」(下関市立大学・吉津直樹学長)、「より多くの学生が進学を志望する大学院になる」(熊本大学大学院・徳永達哉准教授)、「近隣大学からの受験生も増えるであろう」(前西南学院理事長・院長の寺園善基氏)。

●国内外で教鞭をとる比文OBの外国人研究者からの期待の声

「今の時代が求めている学問の融合のなかで、広範囲の視点をもって活躍する、グローバル人材の育成に最も適した学府になる」(釜慶大学校人文社会科学大学・ユンイル准教授)、「より多くの博士課程の進学希望者を引き付けることになる」し、「私の勤める大学の学生にも今後、地球社会統合科学府を紹介し、進学を勧めるつもりですし、活水女子大学の学術協定校(韓国、中国の大学だけでなく、ベトナム、タイなどの大学)の日本留学(大学院)を希望している学部生に地球社会統合科学府を勧めたい」(活水女子大学文学部人間関係学科・崔炳一准教授)。

●九州地区の代表的博物館のトップからの期待の声

「文理の融合をさらに強化しようと試みる本学府」の養成する「幅広い視野と新視点を持つ人材は各自治体での文化財行政において広く求められる」(九州国立博物館・三輪嘉六館長)、「学問的知見と行政・マネジメントへの高度な能力を総合的に行使できる人材が不可欠であり、新学府への期待は高い」(福岡市博物館・有馬学館長)。

●九大が多様なプロジェクトで連携してきた自治体の長からの期待の声

本学府が養成する「環境問題に深い関心を持ち、歴史やアジアとの関連に発言力・発信力のある方たちから積極的な発言をしてもらいたいし、一緒に仕事をしていきたい」(豊後高田市・永松博文市長)。

●国際協力機関からの期待の声

本学府の教育は「JICA職員に求められる『発信力』『構想力』『現場力』という3つの力を育成するものである」(日本国際協力機構(JICA)・渡辺雅人国際協力人材副室長)。

●地域社会のグローバル化の分野で活動するNPOからの期待の声

「日本語教育専門家を育成する地球社会統合科学府への期待は大きい」(NPO法人女性エンパワーメントセンター福岡代表・松崎百合子氏)。

●他の大学院の研究科長からの期待の声

「理念を実現するための具体的かつ魅力的なカリキュラム」(名古屋大学大学院環境学研究科長・溝口常俊教授)、「社会からの要請に応えるもの」(静岡大学大学院情報学研究科長・西原純教授)。

●本学府の教育分野に関連する領域の第一線の専門家からの期待の声

「東日本大震災研究などの文理融合的・学際的な研究」で実績のある本学府の教育理念は、「私が研究している活断層研究・防災論の分野に極めて合致」しており、「このような特色を持つ、九州大学地球社会統合科学府の設立を心から期待する」(原子力規制委員会専門家調査団メンバーの廣内大助信州大学准教授)。

教育課程等の概要(事前伺い)

(比較社会文化学府 日本社会文化専攻 博士前期課程【既設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手							
日本社会文化専攻(日本社会文化専攻専門科目・国際社会文化専攻関連科目)	近代日本の形成と構造(近現代日本と東アジア) I	1前		2				○												
	近代日本の形成と構造(近現代日本と東アジア) II	1後		2				○												
	近代日本の形成と構造(近現代日本と東アジア) III	2前		2				○												
	近代日本の形成と構造(近現代日本と東アジア) IV	2後		2				○												
	近代日本の形成と構造(日本前近代・近代移行論) I	1前		2				○		1										
	近代日本の形成と構造(日本前近代・近代移行論) II	1後		2				○		1										
	近代日本の形成と構造(日本前近代・近代移行論) III	2前		2				○		1										
	近代日本の形成と構造(日本前近代・近代移行論) IV	2後		2				○		1										
	現代日本の形成と変容(日本社会と科学技術) I	1前		2				○		1										
	現代日本の形成と変容(日本社会と科学技術) II	1後		2				○		1										
	現代日本の形成と変容(日本社会と科学技術) III	2前		2				○		1										
	現代日本の形成と変容(日本社会と科学技術) IV	2後		2				○		1										
	現代日本の形成と変容(情報社会論) I	1前		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(情報社会論) II	1後		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(情報社会論) III	2前		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(情報社会論) IV	2後		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(現代社会の構造) I	1前		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(現代社会の構造) II	1後		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(現代社会の構造) III	2前		2				○			1									
	現代日本の形成と変容(現代社会の構造) IV	2後		2				○			1									
	言語と文芸(日本近代文学) I	1前		2				○			1									
	言語と文芸(日本近代文学) II	1後		2				○			1									
	言語と文芸(日本近代文学) III	2前		2				○			1									
	言語と文芸(日本近代文学) IV	2後		2				○			1									
	言語と文芸(現代日本文学) I	1前		2				○		1										
	言語と文芸(現代日本文学) II	1後		2				○		1										
	言語と文芸(現代日本文学) III	2前		2				○		1										
	言語と文芸(現代日本文学) IV	2後		2				○		1										
	言語と文芸(比較文学) I	1前		2				○				1								
	言語と文芸(比較文学) II	1後		2				○				1								
	言語と文芸(比較文学) III	2前		2				○				1								
	言語と文芸(比較文学) IV	2後		2				○				1								
	法と思想(現代人権論) I	1前		2				○				1								
	法と思想(現代人権論) II	1後		2				○				1								
	法と思想(現代人権論) III	2前		2				○				1								
	法と思想(現代人権論) IV	2後		2				○				1								
	法と思想(日本政治思想史) I	1前		2				○		1										
	法と思想(日本政治思想史) II	1後		2				○		1										
	法と思想(日本政治思想史) III	2前		2				○		1										
	法と思想(日本政治思想史) IV	2後		2				○		1										
	地域の構造と政策(産業地域政策論) I	1前		2				○				1								
	地域の構造と政策(産業地域政策論) II	1後		2				○				1								
	地域の構造と政策(産業地域政策論) III	2前		2				○				1								
	地域の構造と政策(産業地域政策論) IV	2後		2				○				1								
	地域の構造と政策(都市政策論) I	1前		2				○				1								
	地域の構造と政策(都市政策論) II	1後		2				○				1								
	地域の構造と政策(都市政策論) III	2前		2				○				1								
	地域の構造と政策(都市政策論) IV	2後		2				○				1								
	地域の歴史と社会(近世地域社会史論) I	1前		2				○		1										
	地域の歴史と社会(近世地域社会史論) II	1後		2				○		1										
地域の歴史と社会(近世地域社会史論) III	2前		2				○		1											
地域の歴史と社会(近世地域社会史論) IV	2後		2				○		1											
地域の歴史と社会(都市化と地域集団) I	1前		2				○		1											
地域の歴史と社会(都市化と地域集団) II	1後		2				○		1											
地域の歴史と社会(都市化と地域集団) III	2前		2				○		1											
地域の歴史と社会(都市化と地域集団) IV	2後		2				○		1											
先史集団論 I	1前		2				○		1											
先史集団論 II	1後		2				○		1											
先史集団論 III	2前		2				○		1											
先史集団論 IV	2後		2				○		1											
社会考古学 I	1前		2				○		1											
社会考古学 II	1後		2				○		1											

	調査研究方法論 (極域地圏環境論)	通年	4		○							兼3
	調査研究方法論 (経済構造論)	通年	4		○			2				
	調査研究方法論 (比較基層文明論)	通年	4		○		1	1				
	調査研究方法論 (産業資料情報論)	通年	4		○		1	1				
	調査研究方法論 (日本語教育論)	通年	4		○		3	2				
	特別研究 (日本社会構造論)	通年	4		○		2	2	1			
	特別研究 (文化構造論)	通年	4		○		2	3				
	特別研究 (地域構造論)	通年	4		○		2	2				
	特別研究 (基層構造論)	通年	4		○		3	2				
	特別研究 (地域資料情報論)	通年	4		○		3	1	2			
	特別研究 (経済構造論)	通年	4		○			2				
	特別研究 (比較基層文明論)	通年	4		○		1	1				
	特別研究 (産業資料情報論)	通年	4		○		1	1				
	特別研究 (日本語教育論)	通年	4		○		3	2				
日本社会文化専攻国際コース	Contemporary Japanese History I	1前	2		○					1		
	Contemporary Japanese History II	1後	2		○					1		
	Contemporary Japanese History III	2前	2		○					1		
	Contemporary Japanese History IV	2後	2		○					1		
	Lecture in Japanese Culture I	1前	2		○			1				
	Lecture in Japanese Culture II	1後	2		○			1				
	Lecture in Japanese Culture III	2前	2		○			1				
	Lecture in Japanese Culture IV	2後	2		○			1				
	Framework and Principles of Social Archaeology I	1前	2		○		1					
	Framework and Principles of Social Archaeology II	1後	2		○		1					
	Framework and Principles of Social Archaeology III	2前	2		○		1					
	Framework and Principles of Social Archaeology IV	2後	2		○		1					
	Analysis of Biological Information - Genetic Data I	1前	2		○						1	
	Analysis of Biological Information - Genetic Data II	1後	2		○						1	
	Analysis of Biological Information - Genetic Data III	2前	2		○						1	
	Analysis of Biological Information - Genetic Data IV	2後	2		○						1	
	Evolution of Crustal Materials I	1前	2		○		1					
	Evolution of Crustal Materials II	1後	2		○		1					
	Evolution of Crustal Materials III	2前	2		○		1					
	Evolution of Crustal Materials IV	2後	2		○		1					
	Analysis of Biological Information I	1前	2		○						1	
	Analysis of Biological Information II	1後	2		○						1	
	Analysis of Biological Information III	2前	2		○						1	
	Analysis of Biological Information IV	2後	2		○						1	
	Origin and Evolution of Continental Crusts I	1前	2		○							兼1
	Origin and Evolution of Continental Crusts II	1後	2		○							兼1
	Origin and Evolution of Continental Crusts III	2前	2		○							兼1
	Origin and Evolution of Continental Crusts IV	2後	2		○							兼1
	Seafloor Evolution in Polar Region I	1前	2		○							兼1
	Seafloor Evolution in Polar Region II	1後	2		○							兼1
	Seafloor Evolution in Polar Region III	2前	2		○							兼1
	Seafloor Evolution in Polar Region IV	2後	2		○							兼1
	Geologic Evolution of Gondwana I	1前	2		○							兼1
	Geologic Evolution of Gondwana II	1後	2		○							兼1
	Geologic Evolution of Gondwana III	2前	2		○							兼1
	Geologic Evolution of Gondwana IV	2後	2		○							兼1
	Second Language Acquisition I	1前	2		○				1			
	Second Language Acquisition II	1後	2		○				1			
	Second Language Acquisition III	2前	2		○				1			
	Second Language Acquisition IV	2後	2		○				1			
	Seminar (Modern and Contemporary Japanese History I)	1前	2		○				1	1		
Seminar (Modern and Contemporary Japanese History II)	1後	2		○				1	1			
Seminar (Modern and Contemporary Japanese History III)	2前	2		○				1	1			
Seminar (Modern and Contemporary Japanese History IV)	2後	2		○				1	1			
Seminar (A seminar in Earth System Science I)	1前	2		○		1				2	兼3	
Seminar (A seminar in Earth System Science II)	1後	2		○		1				2	兼3	
Seminar (A seminar in Earth System Science III)	2前	2		○		1				2	兼3	
Seminar (A seminar in Earth System Science IV)	2後	2		○		1				2	兼3	
Seminar (Field Earth Sciences I)	1前	2		○		2						
Seminar (Field Earth Sciences II)	1後	2		○		2						
Seminar (Field Earth Sciences III)	2前	2		○		2						
Seminar (Field Earth Sciences IV)	2後	2		○		2						
Seminar (Polar Geospheric Environments I)	1前	2		○							兼3	

	Seminar (Polar Geospheric Environments II)	1後	2		○								兼3
	Seminar (Polar Geospheric Environments III)	2前	2		○								兼3
	Seminar (Polar Geospheric Environments IV)	2後	2		○								兼3
	Seminar (Language and Communication I)	1前	2		○	1	2						
	Seminar (Language and Communication II)	1後	2		○	1	2						
	Seminar (Language and Communication III)	2前	2		○	1	2						
	Seminar (Language and Communication IV)	2後	2		○	1	2						
	Research Methodology (Contemporary Japanese History)	通年	4		○			1					
	Research Methodology (Japanese Modern History)	通年	4		○			1					
	Research Methodology (Social Archaeology Practicals)	通年	4		○	1							
	Research Methodology (Biological data)	通年	4		○				2				
	Research Methodology (Analyses of Crustal Materials)	通年	4		○	1							
	Research Methodology (Research Methods in Language and Communication)	通年	4		○	1	2						
	MA thesis	通年	4		○	3	2	3					兼3
	小計 (286科目)		624			17	17	3					兼3
専攻共通	語学教育実践演習 I	1前	2		○	1							
	語学教育実践演習 II	1後	2		○	1							
	語学教育実践演習 III	2前	2		○	1							
	語学教育実践演習 IV	2後	2		○	1							
	日本文化論 I	1前	2		○		1						
	日本文化論 II	1後	2		○		1						
	日本文化論 III	2前	2		○		1						
	日本文化論 IV	2後	2		○		1						
	総合演習 (日本史学 I)	1前	2		○	4	1	1					
	総合演習 (日本史学 II)	1後	2		○	4	1	1					
	総合演習 (日本史学 III)	2前	2		○	4	1	1					
	総合演習 (日本史学 IV)	2後	2		○	4	1	1					
	総合演習 (文化人類学 I)	1前	2		○								兼2
	総合演習 (文化人類学 II)	1後	2		○								兼2
	総合演習 (文化人類学 III)	2前	2		○								兼2
	総合演習 (文化人類学 IV)	2後	2		○								兼2
	総合演習 (国際関係論 I)	1前	2		○								兼3
	総合演習 (国際関係論 II)	1後	2		○								兼3
	総合演習 (国際関係論 III)	2前	2		○								兼3
	総合演習 (国際関係論 IV)	2後	2		○								兼3
	総合演習 (知の加工学 I)	1前	2		○	5	4						兼4
	総合演習 (知の加工学 II)	1後	2		○	5	4						兼4
	総合演習 (知の加工学 III)	2前	2		○	5	4						兼4
総合演習 (知の加工学 IV)	2後	2		○	5	4						兼4	
調査研究方法論 (社会学・文化人類学 I)	1前	2		○	1	2						兼2	
調査研究方法論 (社会学・文化人類学 II)	1後	2		○	1	2						兼2	
調査研究方法論 (社会学・文化人類学 III)	2前	2		○	1	2						兼2	
調査研究方法論 (社会学・文化人類学 IV)	2後	2		○	1	2						兼2	
歴史学拠点コース	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) I	1前	2		○	4	3						
	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) II	1後	2		○	4	3						
	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) III	2前	2		○	4	3						
	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) IV	2後	2		○	4	3						
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) I	1前	2		○	1							
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) II	1後	2		○	1							
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) III	2前	2		○	1							
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) IV	2後	2		○	1							
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) I	1前	2		○	3							
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) II	1後	2		○	3							
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) III	2前	2		○	3							
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) IV	2後	2		○	3							
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) I	1前	2		○	1		1					
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) II	1後	2		○	1		1					
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) III	2前	2		○	1		1					
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) IV	2後	2		○	1		1					
	総合演習 (空間論領域横断ゼミ) I	1前	2		○			3					
総合演習 (空間論領域横断ゼミ) II	1後	2		○			3						
総合演習 (空間論領域横断ゼミ) III	2前	2		○			3						
総合演習 (空間論領域横断ゼミ) IV	2後	2		○			3						
小計 (48科目)	—		96			13	9	1					兼7
合計 (334科目)		—	720			22	18	4					兼10
学位又は称号		比較社会文化、理学	学位又は学科の分野			文学関係、理学関係、社会学・社会福祉学関係、経済学関係、法学関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(比較社会文化学府 国際社会文化専攻 博士前期課程【既設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
国際社会文化専攻(国際社会文化専攻専門科目・日本社会文化専攻関連科目)	東アジア文化論(中国の宗教・民族・文化) I	1前		2				○						1			
	東アジア文化論(中国の宗教・民族・文化) II	1後		2				○						1			
	東アジア文化論(中国の宗教・民族・文化) III	2前		2				○						1			
	東アジア文化論(中国の宗教・民族・文化) IV	2後		2				○						1			
	東アジア文化論(中国古典文学) I	1前		2				○		1							
	東アジア文化論(中国古典文学) II	1後		2				○		1							
	東アジア文化論(中国古典文学) III	2前		2				○		1							
	東アジア文化論(中国古典文学) IV	2後		2				○		1							
	アジア民族社会論(東アジアの国際関係) I	1前		2				○			1						
	アジア民族社会論(東アジアの国際関係) II	1後		2				○			1						
	アジア民族社会論(東アジアの国際関係) III	2前		2				○			1						
	アジア民族社会論(東アジアの国際関係) IV	2後		2				○			1						
	文化人類学(理論と実践) I	1前		2				○		1							
	文化人類学(理論と実践) II	1後		2				○		1							
	文化人類学(理論と実践) III	2前		2				○		1							
	文化人類学(理論と実践) IV	2後		2				○		1							
	国際社会論 I	1前		2				○		1							
	国際社会論 II	1後		2				○		1							
	国際社会論 III	2前		2				○		1							
	国際社会論 IV	2後		2				○		1							
	国際関係論(中東・イスラム地域研究) I	1前		2				○				1					
	国際関係論(中東・イスラム地域研究) II	1後		2				○				1					
	国際関係論(中東・イスラム地域研究) III	2前		2				○				1					
	国際関係論(中東・イスラム地域研究) IV	2後		2				○				1					
	ヨーロッパ社会論(ドイツ啓蒙主義) I	1前		2				○		1							
	ヨーロッパ社会論(ドイツ啓蒙主義) II	1後		2				○		1							
	ヨーロッパ社会論(ドイツ啓蒙主義) III	2前		2				○		1							
	ヨーロッパ社会論(ドイツ啓蒙主義) IV	2後		2				○		1							
	文化人類学(ラテンアメリカの文化と社会) I	1前		2				○		1							
	文化人類学(ラテンアメリカの文化と社会) II	1後		2				○		1							
	文化人類学(ラテンアメリカの文化と社会) III	2前		2				○		1							
	文化人類学(ラテンアメリカの文化と社会) IV	2後		2				○		1							
	現代思想論 I	1前		2				○		1							
	現代思想論 II	1後		2				○		1							
	現代思想論 III	2前		2				○		1							
	現代思想論 IV	2後		2				○		1							
	比較思想論 I	1前		2				○			1						
	比較思想論 II	1後		2				○			1						
	比較思想論 III	2前		2				○			1						
	比較思想論 IV	2後		2				○			1						
	ジェンダー論 I	1前		2				○			1						
	ジェンダー論 II	1後		2				○			1						
	ジェンダー論 III	2前		2				○			1						
	ジェンダー論 IV	2後		2				○			1						
	生物圏環境学(群集レベルの環境生物学) I	1前		2				○		1							
	生物圏環境学(群集レベルの環境生物学) II	1後		2				○		1							
	生物圏環境学(群集レベルの環境生物学) III	2前		2				○		1							
	生物圏環境学(群集レベルの環境生物学) IV	2後		2				○		1							
	生物圏環境学(種レベルの環境生物学) I	1前		2				○		1							
	生物圏環境学(種レベルの環境生物学) II	1後		2				○		1							
生物圏環境学(種レベルの環境生物学) III	2前		2				○		1								
生物圏環境学(種レベルの環境生物学) IV	2後		2				○		1								
岩石圏環境学(環境鉱物学) I	1前		2				○			1							
岩石圏環境学(環境鉱物学) II	1後		2				○			1							
岩石圏環境学(環境鉱物学) III	2前		2				○			1							
岩石圏環境学(環境鉱物学) IV	2後		2				○			1							
岩石圏環境学(堆積環境論) I	1前		2				○		1								
岩石圏環境学(堆積環境論) II	1後		2				○		1								
岩石圏環境学(堆積環境論) III	2前		2				○		1								
岩石圏環境学(堆積環境論) IV	2後		2				○		1								
岩石圏環境学(岩石圏物質科学) I	1前		2				○			1							
岩石圏環境学(岩石圏物質科学) II	1後		2				○			1							
岩石圏環境学(岩石圏物質科学) III	2前		2				○			1							

総合演習 (アジア社会論 I)	1前	2			○		1	1		
総合演習 (アジア社会論 II)	1後	2			○		1	1		
総合演習 (アジア社会論 III)	2前	2			○		1	1		
総合演習 (アジア社会論 IV)	2後	2			○		1	1		
総合演習 (欧米社会論 I)	1前	2			○		1	1		
総合演習 (欧米社会論 II)	1後	2			○		1	1		
総合演習 (欧米社会論 III)	2前	2			○		1	1		
総合演習 (欧米社会論 IV)	2後	2			○		1	1	1	
総合演習 (比較文化論 I)	1前	2			○		1	1		
総合演習 (比較文化論 II)	1後	2			○		1	1		
総合演習 (比較文化論 III)	2前	2			○		1	1		
総合演習 (比較文化論 IV)	2後	2			○		1	1		
総合演習 (ジェンダー論 I)	1前	2			○			1		
総合演習 (ジェンダー論 II)	1後	2			○			1		
総合演習 (ジェンダー論 III)	2前	2			○			1		
総合演習 (ジェンダー論 IV)	2後	2			○			1		
総合演習 (地球自然環境学 I)	1前	2			○		4	3		
総合演習 (地球自然環境学 II)	1後	2			○		4	3		
総合演習 (地球自然環境学 III)	2前	2			○		4	3		
総合演習 (地球自然環境学 IV)	2後	2			○		4	3		
総合演習 (生物インベントリー論 I)	1前	2			○		1	2		
総合演習 (生物インベントリー論 II)	1後	2			○		1	2		
総合演習 (生物インベントリー論 III)	2前	2			○		1	2		
総合演習 (生物インベントリー論 IV)	2後	2			○		1	2		
総合演習 (比較政治論 I)	1前	2			○		2			
総合演習 (比較政治論 II)	1後	2			○		2			
総合演習 (比較政治論 III)	2前	2			○		2			
総合演習 (比較政治論 IV)	2後	2			○		2			
総合演習 (地球環境保全学 I)	1前	2			○		1	1		
総合演習 (地球環境保全学 II)	1後	2			○		1	1		
総合演習 (地球環境保全学 III)	2前	2			○		1	1		
総合演習 (地球環境保全学 IV)	2後	2			○		1	1		
総合演習 (異文化コミュニケーション論 I)	1前	2			○		3	1		
総合演習 (異文化コミュニケーション論 II)	1後	2			○		3	1		
総合演習 (異文化コミュニケーション論 III)	2前	2			○		3	1		
総合演習 (異文化コミュニケーション論 IV)	2後	2			○		3	1		
総合演習 (国際言語文化論 I)	1前	2			○		4	1		
総合演習 (国際言語文化論 II)	1後	2			○		4	1		
総合演習 (国際言語文化論 III)	2前	2			○		4	1		
総合演習 (国際言語文化論 IV)	2後	2			○		4	1		
調査研究方法論 (アジア社会論)	通年	4			○		1	1	1	
調査研究方法論 (アジア社会論・欧米社会論)	通年	4			○		2			
調査研究方法論 (欧米社会論)	通年	4			○		3		1	
調査研究方法論 (比較文化論)	通年	4			○		1	1		
調査研究方法論 (ジェンダー論)	通年	4			○			1		
調査研究方法論 (地球自然環境学)	通年	4			○		4	3		
調査研究方法論 (生物インベントリー論)	通年	4			○		1	2		
調査研究方法論 (比較政治論)	通年	4			○		2			
調査研究方法論 (地球環境保全学)	通年	4			○		1			
調査研究方法論 (異文化コミュニケーション論)	通年	4			○		3			
調査研究方法論 (国際言語文化論)	通年	4			○		4	1		
特別研究 (アジア社会論)	通年	4			○		2	1	1	
特別研究 (欧米社会論)	通年	4			○		3		1	
特別研究 (比較文化論)	通年	4			○		1	2		
特別研究 (地球自然環境学)	通年	4			○		4	3		
特別研究 (生物インベントリー論)	通年	4			○		1	2		
特別研究 (比較政治論)	通年	4			○		2			
特別研究 (地球環境保全学)	通年	4			○		1	1		
特別研究 (異文化コミュニケーション論)	通年	4			○		3	1		
特別研究 (国際言語文化論)	通年	4			○		4	1		
国際社会文化専攻国際コース Religions and Nationalities in China I	1前	2			○				1	
Religions and Nationalities in China II	1後	2			○				1	
Religions and Nationalities in China III	2前	2			○				1	
Religions and Nationalities in China IV	2後	2			○				1	
East Asia International Relations I	1前	2			○			1		
East Asia International Relations II	1後	2			○			1		
East Asia International Relations III	2前	2			○			1		
East Asia International Relations IV	2後	2			○			1		
International Relations (the Middle Eastern and Islamic Area Studies) I	1前	2			○				1	
International Relations (the Middle Eastern and Islamic Area Studies) II	1後	2			○				1	
International Relations (the Middle Eastern and Islamic Area Studies) III	2前	2			○				1	

International Relations (the Middle Eastern and Islamic Area Studies) IV	2後	2	○				1		
Gender Studies I	1前	2	○				1		
Gender Studies II	1後	2	○				1		
Gender Studies III	2前	2	○				1		
Gender Studies IV	2後	2	○				1		
Introduction to Biodiversity Science I	1前	2	○			1			
Introduction to Biodiversity Science II	1後	2	○			1			
Introduction to Biodiversity Science III	2前	2	○			1			
Introduction to Biodiversity Science IV	2後	2	○			1			
Environmental Science in Lithosphere (Environmental Sedimentology) I	1前	2	○			1			
Environmental Science in Lithosphere (Environmental Sedimentology) II	1後	2	○			1			
Environmental Science in Lithosphere (Environmental Sedimentology) III	2前	2	○			1			
Environmental Science in Lithosphere (Environmental Sedimentology) IV	2後	2	○			1			
Environmental Science in Lithosphere (Physics and chemistry of earth materials) I	1前	2	○				1		
Environmental Science in Lithosphere (Physics and chemistry of earth materials) II	1後	2	○				1		
Environmental Science in Lithosphere (Physics and chemistry of earth materials) III	2前	2	○				1		
Environmental Science in Lithosphere (Physics and chemistry of earth materials) IV	2後	2	○				1		
Systematic Zoology I	1前	2	○			1			
Systematic Zoology II	1後	2	○			1			
Systematic Zoology III	2前	2	○			1			
Systematic Zoology IV	2後	2	○			1			
Inventory Study on Soil Animals and Beetles I	1前	2	○				1		
Inventory Study on Soil Animals and Beetles II	1後	2	○				1		
Inventory Study on Soil Animals and Beetles III	2前	2	○				1		
Inventory Study on Soil Animals and Beetles IV	2後	2	○				1		
An introduction to Phylogeography I	1前	2	○				1		
An introduction to Phylogeography II	1後	2	○				1		
An introduction to Phylogeography III	2前	2	○				1		
An introduction to Phylogeography IV	2後	2	○				1		
Soil and Water Conservation I	1前	2	○			1			
Soil and Water Conservation II	1後	2	○			1			
Soil and Water Conservation III	2前	2	○			1			
Soil and Water Conservation IV	2後	2	○			1			
Speech Communication I	1前	2	○			1			
Speech Communication II	1後	2	○			1			
Speech Communication III	2前	2	○			1			
Speech Communication IV	2後	2	○			1			
Quantitative Linguistics I	1前	2	○				1		
Quantitative Linguistics II	1後	2	○				1		
Quantitative Linguistics III	2前	2	○				1		
Quantitative Linguistics IV	2後	2	○				1		
Seminar (East Asia Studies I)	1前	2	○					1	
Seminar (East Asia Studies II)	1後	2	○					1	
Seminar (East Asia Studies III)	2前	2	○					1	
Seminar (East Asia Studies IV)	2後	2	○					1	
Seminar (International Relations I)	1前	2	○					1	
Seminar (International Relations II)	1後	2	○					1	
Seminar (International Relations III)	2前	2	○					1	
Seminar (International Relations IV)	2後	2	○					1	
Seminar (A seminar in Earth System Science I)	1前	2	○			4	4		
Seminar (A seminar in Earth System Science II)	1後	2	○			4	4		
Seminar (A seminar in Earth System Science III)	2前	2	○			4	4		
Seminar (A seminar in Earth System Science IV)	2後	2	○			4	4		
Seminar (Field Earth Sciences I)	1前	2	○			2			
Seminar (Field Earth Sciences II)	1後	2	○			2			
Seminar (Field Earth Sciences III)	2前	2	○			2			
Seminar (Field Earth Sciences IV)	2後	2	○			2			
Seminar (Language and Communication I)	1前	2	○			1	2		
Seminar (Language and Communication II)	1後	2	○			1	2		
Seminar (Language and Communication III)	2前	2	○			1	2		
Seminar (Language and Communication IV)	2後	2	○			1	2		
Research Methodology (Research methodologies on religious studies in China)	通年	4	○					1	
Research Methodology (International Studies on East Asia)	通年	4	○				1		
Research Methodology (International Relations)	通年	4	○					1	
Research Methodology (Practice for biodiversity science)	通年	4	○			1			
Research Methodology (Experimental and theoretical methods for researches)	通年	4	○				1		

	Research Methodology (on Land-Water Resources and Environment Conservation)	通年	4			○		1						
	Research Methodology (Research Methods in Language and Communication)	通年	4			○		1	1					
	MA thesis	通年	4			○		5	7	2				
	小計 (276科目)		608					20	9	2				
専攻共通	語学教育実践演習 I	1前	2			○								兼1
	語学教育実践演習 II	1後	2			○								兼1
	語学教育実践演習 III	2前	2			○								兼1
	語学教育実践演習 IV	2後	2			○								兼1
	日本文化論 I	1前	2			○								兼1
	日本文化論 II	1後	2			○								兼1
	日本文化論 III	2前	2			○								兼1
	日本文化論 IV	2後	2			○								兼1
	総合演習 (日本史学 I)	1前	2			○								兼6
	総合演習 (日本史学 II)	1後	2			○								兼6
	総合演習 (日本史学 III)	2前	2			○								兼6
	総合演習 (日本史学 IV)	2後	2			○								兼6
	総合演習 (文化人類学 I)	1前	2			○		2						
	総合演習 (文化人類学 II)	1後	2			○		2						
	総合演習 (文化人類学 III)	2前	2			○		2						
	総合演習 (文化人類学 IV)	2後	2			○		2						
	総合演習 (国際関係論 I)	1前	2			○		1	1	1				
	総合演習 (国際関係論 II)	1後	2			○		1	1	1				
	総合演習 (国際関係論 III)	2前	2			○		1	1	1				
	総合演習 (国際関係論 IV)	2後	2			○		1	1	1				
	総合演習 (知の加工学 I)	1前	2			○		3		1				兼9
	総合演習 (知の加工学 II)	1後	2			○		3		1				兼9
	総合演習 (知の加工学 III)	2前	2			○		3		1				兼9
	総合演習 (知の加工学 IV)	2後	2			○		3		1				兼9
	調査研究方法論 (社会学・文化人類学 I)	1前	2			○		2						兼3
	調査研究方法論 (社会学・文化人類学 II)	1後	2			○		2						兼3
調査研究方法論 (社会学・文化人類学 III)	2前	2			○		2						兼3 ※実習	
調査研究方法論 (社会学・文化人類学 IV)	2後	2			○		2						兼3 ※実習	
歴史学拠点コース	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) I	1前	2			○								兼7
	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) II	1後	2			○								兼7
	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) III	2前	2			○								兼7
	総合演習 (東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) IV	2後	2			○								兼7
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) I	1前	2			○								兼1
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) II	1後	2			○								兼1
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) III	2前	2			○								兼1
	総合演習 (東アジア中世史領域横断ゼミ) IV	2後	2			○								兼1
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) I	1前	2			○								兼3
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) II	1後	2			○								兼3
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) III	2前	2			○								兼3
	総合演習 (東アジア近世史領域横断ゼミ) IV	2後	2			○								兼3
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) I	1前	2			○								兼2
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) II	1後	2			○								兼2
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) III	2前	2			○								兼2
	総合演習 (東アジア近代史領域横断ゼミ) IV	2後	2			○								兼2
	総合演習 (空間論領域横断ゼミ) I	1前	2			○								兼3
	総合演習 (空間論領域横断ゼミ) II	1後	2			○								兼3
	総合演習 (空間論領域横断ゼミ) III	2前	2			○								兼3
	総合演習 (空間論領域横断ゼミ) IV	2後	2			○								兼3
小計 (48科目)	—		96					5	1	1				兼23
合計 (324科目)		—	704					33	18	3				
学位又は称号		比較社会文化、理学	学位又は学科の分野				文学関係、理学関係、社会学・社会福祉学関係、経済学関係、法学関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(比較社会文化学府 日本社会文化専攻 博士後期課程【既設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本社会文化専攻	博士総合演習 I	1・2前		2				○		17	17	3			兼3
	博士総合演習 II	1・2後		2				○		17	17	3			兼3
	博士演習 I	1・2前		2				○		17	17	3			兼3
	博士演習 II	1・2後		2				○		17	17	3			兼3
	博士特別研究	通年	4					○		17	17	3			兼3
国際コース	Integrated Seminar I	1・2前		2				○		3	2	3			兼3
	Integrated Seminar II	1・2後		2				○		3	2	3			兼3
	Seminar I	1・2前		2				○		3	2	3			兼3
	Seminar II	1・2後		2				○		3	2	3			兼3
	Dissertation	通年	4					○		3	2	3			兼3
	小計(10科目)	—								17	17	3			兼3
専攻共通	博士総合演習(東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) I	1・2前		2				○		4	3				
	博士総合演習(東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) II	1・2後		2				○		4	3				
	博士総合演習(東アジア中世史領域横断ゼミ) I	1・2前		2				○		1					
	博士総合演習(東アジア中世史領域横断ゼミ) II	1・2後		2				○		1					
	博士総合演習(東アジア近世史領域横断ゼミ) I	1・2前		2				○		3					
	博士総合演習(東アジア近世史領域横断ゼミ) II	1・2後		2				○		3					
	博士総合演習(東アジア近代史領域横断ゼミ) I	1・2前		2				○		1		1			
	博士総合演習(東アジア近代史領域横断ゼミ) II	1・2後		2				○		1		1			
	博士総合演習(空間論領域ゼミ) I	1・2前		2				○			3				
博士総合演習(空間論領域ゼミ) II	1・2後		2				○			3					
	小計(10科目)	—								8	5	1			
合計(20科目)		—								17	17	3			兼3
学位又は称号	博士(比較社会文化、理学)		学位又は学科の分野					文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 経済学関係, 法学関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(比較社会文化学府 国際社会文化専攻 博士後期課程【既設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本社会文化専攻	博士総合演習 I	1・2前		2			○		21	11	2				
	博士総合演習 II	1・2後		2			○		21	11	2				
	博士演習 I	1・2前		2			○		21	11	2				
	博士演習 II	1・2後		2			○		21	11	2				
	博士特別研究	通年	4				○		21	11	2				
国際コース	Integrated Seminar I	1・2前		2			○		5	6	2				
	Integrated Seminar II	1・2後		2			○		5	6	2				
	Seminar I	1・2前		2			○		5	6	2				
	Seminar II	1・2後		2			○		5	6	2				
	Dissertation	通年	4				○		5	6	2				
小計(10科目)		—							21	11	2				
専攻共通	博士総合演習(東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) I	1・2前		2			○								兼7
	博士総合演習(東アジア考古学・先史学領域横断ゼミ) II	1・2後		2			○								兼7
	博士総合演習(東アジア中世史領域横断ゼミ) I	1・2前		2			○								兼1
	博士総合演習(東アジア中世史領域横断ゼミ) II	1・2後		2			○								兼1
	博士総合演習(東アジア近世史領域横断ゼミ) I	1・2前		2			○								兼3
	博士総合演習(東アジア近世史領域横断ゼミ) II	1・2後		2			○								兼3
	博士総合演習(東アジア近代史領域横断ゼミ) I	1・2前		2			○								兼2
	博士総合演習(東アジア近代史領域横断ゼミ) II	1・2後		2			○								兼2
	博士総合演習(空間論領域ゼミ) I	1・2前		2			○								兼3
	博士総合演習(空間論領域ゼミ) II	1・2後		2			○								兼3
小計(10科目)		—													兼14
合計(20科目)		—							21	11	2				
学位又は称号	博士(比較社会文化、理学)		学位又は学科の分野				文学関係, 理学関係, 社会学・社会福祉学関係, 経済学関係, 法学関係								